YAMAHA

ユーザーガイド

サウンドバー

SR-X90A

JA

目次

製品とユーザーガイドについて 7

本製品の特長 7
同梱品について 8
ユーザーガイドと各種マニュアルについて 10
ユーザーガイドの記載内容に関するお知らせ 10

各部の名称と機能 12

サウンドバーの各部名称（前面/上面） 12
サウンドバーの各部名称（背面） 14
サウンドバーの各部名称（フロントディスプレイ） 16
フロントディスプレイの各部の名称と機能 16
フロントディスプレイの情報画面の切り替え 18
サブウーファーの各部名称 23
リモコンの各部名称 26

ご使用の準備 29

準備の流れ 29
準備に関する注意事項 30
リモコンを準備する 34
設置する 35
テレビに接続する 37
テレビにHDMI接続する 37
AV機器を接続する 40
AV機器をサウンドバーに接続する 40
AV機器をテレビのHDMI入力端子に接続する 42
ネットワーク接続の準備をする 44
ネットワークに接続するには 44
LANケーブルを接続する（有線接続） 45
電源に接続する 46

電源をオンにする 47
サブウーファーの接続を確認する 50
HDMIコントロール機能を有効にする 51
サウンドバーからの音声出力を確認する 54
MusicCastを設定する 56
MusicCastについて 56
MusicCast Controllerについて 57
MusicCastネットワークに登録する 58

再生 60

基本操作 60
再生の基本操作 60
再生画面について 62
テレビの音声を聴く 63
eARC/ARCを使用してテレビの音声を聴く 63
光デジタルケーブルで接続したテレビの音声を聴く 64
Bluetooth®接続で再生する 65
Bluetooth®機器の音声を再生する 65
サウンドバーの音声をBluetooth®対応スピーカーなどで再生する 67
MusicCast Controller（アプリ）で再生する 69
ストリーミングサービスを再生する 69
オーディオファイルを再生する 70
インターネットラジオを再生する 71
AirPlayで音楽を再生する 72

お好みの音に調整する 73

お好みのサウンドを選ぶ（サウンドモード） 73
場面に適したサラウンド効果で再生する（SURROUND:AI） 74
お好みのアップミキサーを選んでサラウンド再生する（3D MUSIC） 75
オリジナルの音声を再生する（STRAIGHT） 76
ステレオで再生する（STEREO） 77
特定の音域を強調する（サウンド設定） 78

設定 79

メニューについて 79
メニューの種類 79
再生の設定・信号情報の確認をする（オプションメニュー） 80
オプションメニューの基本操作 80
オプションメニューの一覧 81
低音域/高音域のバランスを自動調節する（アダプティブボリューム） 82
音声信号情報を確認する 83
映像信号情報を確認する 85
自動再生を設定する 86
AirPlayで再生する機器とサウンドバーの音量連動を設定する 87
機能設定をする（設定メニュー） 88
設定メニューの基本操作 88
設定メニュー一覧 89
スピーカーの設定をする 92
音声の設定をする 97
HDMIの設定をする 101
詳細機能の設定をする（ファンクション設定） 104
ネットワークの設定をする 107
Bluetoothの設定をする 111
言語設定をする 113
本体から操作して設定する（フロントディスプレイメニュー） 114
フロントディスプレイメニューの基本操作 114
フロントディスプレイメニュー一覧 115
フロントディスプレイと電源ランプの明るさを設定する（ディマー） 116
チャイルドロック機能の有効/無効を切り替える 117
設定を初期化する 118
ファームウェアを更新する 119

ファームウェアの更新 120

ファームウェアの更新について 120
ファームウェアを更新する 121
ネットワーク経由でファームウェアを更新する 121
USBメモリーを使ってファームウェアを更新する 123

フロントディスプレイのエラーメッセージ 124

よくあるご質問 125

最初にご確認ください 125
電源と動作全般について 126
電源が突然オフになる 126
電源がオンにならない 127
サウンドバーの操作部が操作できない 128
電源がオンのときにフロントディスプレイが消灯している（電源オフのように見える） 129
サウンドバーが正常に動作しない 130
操作をしていないのにサウンドバーの電源がオンになる 131
リモコンでサウンドバーを操作できない 132
テレビのリモコンでサウンドバーを操作できない 133
テレビにサウンドバーの入力が認識されない 134
音声再生について 135
音が出ない 135
サブウーファーから音が出ない 137
電源をオンにし直すと音量が下がる・上がる 138
サラウンド感が得られない 139
雑音が入る 140
Bluetooth®接続について 141
Bluetooth®機器と接続できない 141
Bluetooth®接続時に音が出ない、または音が途切れる 142
ネットワークについて 143
ネットワーク機能を使用できない 143
無線LAN ルーター（アクセスポイント）経由でインタ ーネットに接続できない 144
無線ネットワークが見つからない 145
AirPlayで音楽を再生できない 146
AirPlay対応機器側でサウンドバーが検出されない 147
ストリーミングサービスを再生できない 148
メディアサーバー（NASなど）のオーディオファイルが再生できない 149
ファームウェア更新のお知らせが表示されない 150
アプリ使用について 151
アプリでサウンドバーを検出できない 151
アプリでメディアサーバー（NASなど）を検出できない 152

サウンドバーとサブウーファーが自動で接続されない 153
サウンドバーを初期化（リセット）・再起動したい 154
設定を初期化（リセット）したい 154
サウンドバーの電源を強制的に再起動したい 155
フロントディスプレイに「Internal Error」と表示されている 156

仕様 157

主な仕様 157
対応しているHDMI映像フォーマット 162
対応しているデジタル音声信号フォーマット 164

付録 166

ネットワークへ無線接続する 166
ネットワークへの無線接続方法を選ぶ 166
WPSボタンを使って無線接続する 167
iPhoneを使って無線接続する 168
アクセスポイントの一覧から無線接続する 169
手動で無線接続する 170
PINコード式のWPSで無線接続する 171
サブウーファーを手動で接続する 172
商標 173
サポート窓口一覧 176

製品とユーザーガイドについて

本製品の特長

本製品はテレビやAV 機器に接続して使用するサブウーファー付きバー型スピーカーです。

臨場感豊かなサラウンド再生や、ネットワークを利用した幅広いコンテンツ再生などをお楽しみいただけます。

同梱品について

本製品の同梱品は次のとおりです。同梱品がすべて揃っていることを確認してください。

■ 製品本体

- サウンドバー（SR-CUX90A）



- サブウーファー（SR-WSWX90A）

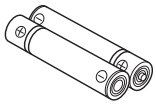


■ 付属品

- リモコン（1個）



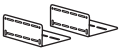
- 単4乾電池 （AAA, LR03, UM-4）（2本）



- 電源コード（2本）



・取付金具（2個）



・ワッシャー（2個）



・クイックガイド（1冊）
・保証書（1通）

お知らせ

HDMIケーブルは付属していません。本製品の接続にHDMIケーブルをお使いになる場合は、市販のHDMIケーブルをご用意ください。HDMIケーブルは接続する機器の機能に合わせてお選びください。

ユーザーガイドと各種マニュアルについて

ユーザーガイドの記載内容に関するお知らせ

- ユーザーガイド（本ガイド）の説明では注意事項などを次のように分類しています。
  -  **警告**
    「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
  -  **注意**
    「傷害を負う可能性が想定される」内容です。
  - **ご注意**
    製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、また環境保護のため、お守りいただく内容です。
  - **お知らせ**
    使用時の注意点や機能の制約、知っておくと便利な補足情報です。
- 掲載されているイラストや画面は、すべて説明のためのものです。
- 記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- 各種スマートフォンやタブレット機器を総称して「スマートフォン」と表記しています。必要な場合は、説明文中で機器の種類を特定しています。
- 本ガイドでは、iPhone、iPad、iPod touchを総称して「iPhone」と表記します。説明文に限定する記載がない場合、「iPhone」という表記はiPhone、iPadおよびiPod touchを意味します。
- 本ガイドでは、主にリモコンでの操作を説明しています。サウンドバー本体の操作が必要な場合は、その都度説明しています。
- 本ガイドでは日本国内仕様の製品について説明しています。

■ 本製品のマニュアルについて

本製品のマニュアルとして、次のガイドが同梱またはウェブ公開されています。

クイックガイド

本製品をご購入後、箱を開けてからテレビなどの音声をお楽しみいただくまでの手順を説明しています。

また、本製品を安全にご使用いただくために必要な情報も掲載されています。ご使用前に必ずお読みください。

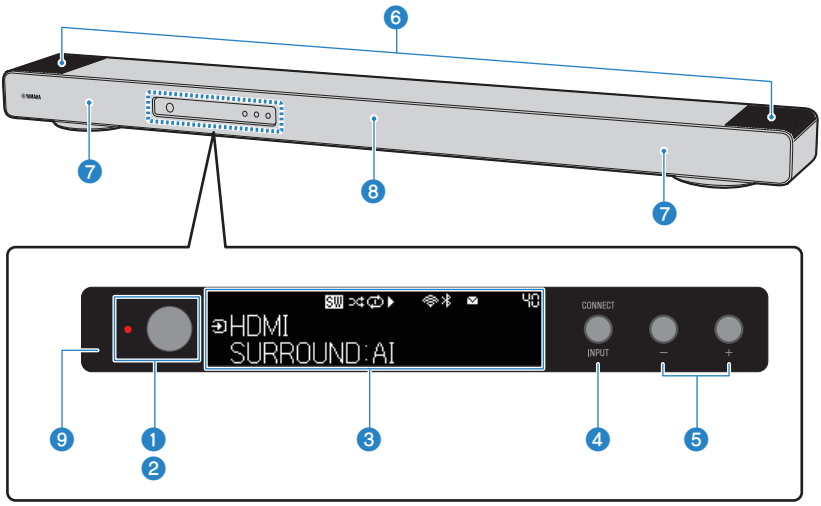
ユーザーガイド（本ガイド）

クイックガイドに記載のない内容も含め、すべての機能や使用手順を説明しています。

各部の名称と機能

サウンドバーの各部名称（前面/上面）

サウンドバー前面/上面の各部の名称と機能について説明します。



❶ 電源ボタン

サウンドバーの電源をオン/オフ（スタンバイ）します。

❷ 電源ランプ

サウンドバーの電源の状態を次のように表示します。

消灯：電源オンのときは消灯します。

点灯：電源オフのときに、次のいずれかの状態で点灯します。

- HDMI コントロールが有効（101ページ）
- HDMIパススルーが有効（101ページ）
- ネットワークスタンバイが有効（107ページ）

❸ フロントディスプレイ

各種情報やメニューを表示します。

❹ INPUT/CONNECTボタン

入力ソースを選択、またはMusicCastネットワークに登録します（60ページ、58ページ）。

❺ **VOL ＋/－（音量）ボタン**

音量を調節します。

❻ **ハイトスピーカー**

❼ **フロントスピーカー**

❽ **センタースピーカー**

❾ **リモコン受光部**

お知らせ

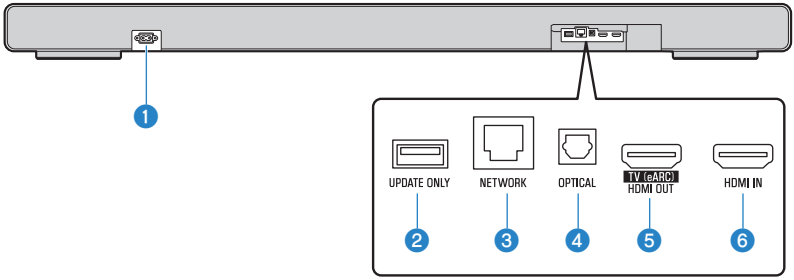
- 液晶表示器の特性により、高温または低温下では文字が見えづらくなる場合がありますが、故障ではありません。
- チャイルドロック機能をオンにすると、誤操作を防止できます。
- 電源ランプとフロントディスプレイの明るさはディマーから調節できます。

関連リンク

- 「チャイルドロック機能の有効/無効を切り替える」(117ページ)
- 「フロントディスプレイと電源ランプの明るさを設定する（ディマー）」(116ページ)
- 「サウンドバーの各部名称（背面）」(14ページ)
- 「フロントディスプレイの各部の名称と機能」(16ページ)
- 「リモコンの各部名称」(26ページ)

サウンドバーの各部名称（背面）

サウンドバー背面の各部の名称と機能について説明します。



❶ AC電源入力端子

サウンドバーの電源コードを接続します。

❷ UPDATE ONLY（アップデート専用）端子

サウンドバーのファームウェアを、USBメモリーを使ってアップデートするときにのみ使用します。

ファームウェアのダウンロードや更新方法については、「ファームウェアの更新について」(120ページ)をご覧ください。

❸ NETWORK（ネットワーク）端子

サウンドバーをネットワークに有線接続する場合に、ネットワークケーブルを接続します（45ページ）。

❹ OPTICAL端子

ARCまたはeARC機能を使用しない場合、HDMIケーブル（市販品）と光デジタルケーブル（市販品）を使って、テレビに接続します（37ページ）。

光デジタルケーブルは、テレビの音声信号をサウンドバーに伝送します。

❺ HDMI OUT/TV (eARC)端子

HDMI入力対応のテレビを接続します。映像と音声が出力されます。eARC/ARC使用時は、テレビの音声が入力されます（37ページ）。

❻ HDMI IN端子

HDMI出力対応のAV機器を接続します。映像と音声が入力されます（40ページ）。

関連リンク

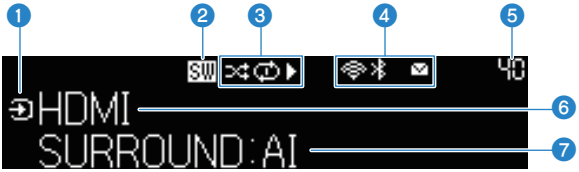
- 「サウンドバーの各部名称（前面/上面）」(12ページ)
- 「サウンドバーの各部名称（フロントディスプレイ）」(16ページ)
- 「リモコンの各部名称」(26ページ)
- 「ファームウェアの更新について」(120ページ)

サウンドバーの各部名称（フロントディスプレイ）

フロントディスプレイの各部の名称と機能

フロントディスプレイの各部の名称と機能について説明します。

■ 通常表示



❶ 表示モードアイコン

フロントディスプレイのモード（入力表示、情報画面選択）を表示します。

：入力表示モードのときに点灯します。

：情報画面選択モードのときに点灯します。

❷ 接続スピーカーアイコン

以下のアイコンは、サブウーファーの接続時に点灯します。

：サブウーファーが接続されているときに点灯します。

❸ 再生ステータスアイコン

：シャッフル再生が設定されているときに点灯します。

：リピート（全曲）再生が設定されているときに点灯します。

：リピート（1曲）再生が設定されているときに点灯します。

：再生時に点灯します。

：ポーズ（一時停止）時に点灯します。

：停止時に点灯します。

❹ ステータスアイコン

（無線LAN）：ネットワークに無線接続しているときに点灯します。WAC*とMusicCastネットワークへの登録モード中には点滅します。

（Bluetooth）：Bluetooth機器が接続されているときに点灯します。

：ファームウェアの更新があるときに点灯します。

* WAC（Wireless Accessory Configuration）とはiOS端末の無線設定を別の機器に適用し、ネットワークに無線接続する機能です。

❺ 音量

音量を表示します。

❻ **主情報表示エリア**

フロントディスプレイの表示モードに応じて現在の入力名、入力情報の表示項目名などを表示します。

❼ **付加情報表示エリア**

入力に関する付加情報（サウンドモード名、出力チャンネル情報など）を表示します。

■ メニュー表示



❶ **メニューモード**

フロントディスプレイメニューを表示中に点灯します。

❷ **メニュー階層**

フロントディスプレイメニューの階層名を表示します。

❸ **メニュー項目**

フロントディスプレイメニューの項目や設定値を表示します。

❹ **カーソルインジケーター**

右側のメニュー項目や設定値に対するカーソル操作を表示します。

関連リンク

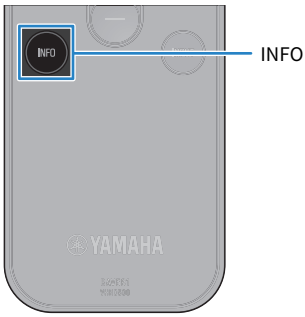
- 「サウンドバーの各部名称（前面/上面）」(12ページ)
- 「フロントディスプレイの情報画面の切り替え」(18ページ)
- 「リモコンの各部名称」(26ページ)
- 「フロントディスプレイメニューの基本操作」(114ページ)

フロントディスプレイの情報画面の切り替え

フロントディスプレイの情報画面では、選択している入力の付加情報を表示します。



リモコンの INFO キーを押して、フロントディスプレイの表示を情報選択画面に切り替えます。表示項目を切り替えるには、INFOキーを繰り返し押します。表示項目名の下に、表示項目の情報が表示されます。



表示項目は入力によって異なります。

入力		表示項目
HDMI **TV** **OPTICAL**		サウンドモード、オーディオデコーダー、出力チャンネル、HDMIステータス、システムステータス
NET（ネットワーク）系入力	**SERVER** **Amazon Music** **AirPlay**	再生曲、再生アーティスト、再生アルバム、IPアドレス、MACアドレス (イーサネット)、MACアドレス (Wi-Fi)、サウンドモード、オーディオデコーダー、出力チャンネル、HDMIステータス、システムステータス
	NET RADIO	放送局、IPアドレス、MACアドレス (イーサネット)、MACアドレス (Wi-Fi) 、サウンドモード、オーディオデコーダー、出力チャンネル、HDMIステータス、システムステータス、再生曲、再生アルバム
	Spotify	情報、再生曲、再生アーティスト、再生アルバム、IPアドレス、MACアドレス(イーサネット)、MACアドレス (Wi-Fi)、サウンドモード、オーディオデコーダー 、出力チャンネル、HDMIステータス、システムステータス
	Deezer **Qobuz** **TIDAL Connect**	再生トラック、再生アーティスト、再生アルバム、IPアドレス、MACアドレス (イーサネット)、MACアドレス (Wi-Fi)、サウンドモード、オーディオデコーダー、出力チャンネル、HDMIステータス、システムステータス
	radiko	放送局、IPアドレス、MACアドレス (イーサネット)、MACアドレス (Wi-Fi)、サウンドモード、オーディオデコーダー、出力チャンネル、HDMIステータス、システムステータス
	MusicCast Link	サウンドモード、オーディオデコーダー、出力チャンネル、HDMIステータス、システムステータス 、IPアドレス、MACアドレス (イーサネット)、MACアドレス (Wi-Fi)
Bluetooth		再生曲、再生アーティスト、再生アルバム、サウンドモード、オーディオデコーダー、出力チャンネル、HDMIステータス、システムステータス

お知らせ

- 地域によっては使用できないサービスがあります。
- 無操作のまま5秒ほど経過すると、フロントディスプレイの表示は通常表示に切り替わります。

■ サウンドモードについて

選択中のサウンドモード名（SURROUND:AI/3D MUSIC/STEREO/STRAIGHT）が表示されます。

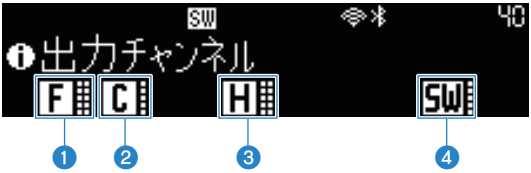
■ オーディオデコーダー について

コーデックとデコーダー 名が表示されます。



■ 出力チャンネルについて

音声出力中のチャンネルとレベルメーターが表示されます。



❶ **フロントスピーカー、フロントL/Rレベルメーター**
フロントスピーカーから音声出力中に F が点灯します。
また、フロントスピーカーの左右それぞれの音声レベルを▮で表示します。

❷ **センタースピーカー、センターレベルメーター**
センタースピーカーから音声出力中に C が点灯します。
また、センタースピーカーの音声レベルを▮で表示します。

❸ **ハイトスピーカー、ハイトL/Rレベルメーター**
ハイトスピーカーから音声出力中に H が点灯します。
また、ハイトスピーカーの左右それぞれの音声レベルを▮で表示します。

❹ **サブウーファー、サブウーファーレベルメーター**
サブウーファーから音声出力中に SW が点灯します。
また、サブウーファーの音声レベルを▮で表示します。

音声出力がない場合は、アンダーラインが表示されます。



サブウーファーが未登録の場合は、アンダーラインは表示されません。



■ HDMIステータスについて



HDMI IN、HDMI OUT/TV (eARC)端子への入出力信号の有無が表示されます。

IN：HDMI入力

OUT：HDMI出力



入出力信号がない場合はアンダーラインが表示されます。

■ システムステータスについて

システム全般に関連する機能の状態が表示されます。



MASTER：MusicCastネットワークの親機として動作している（リンクマスターになっている）ときに点灯します。

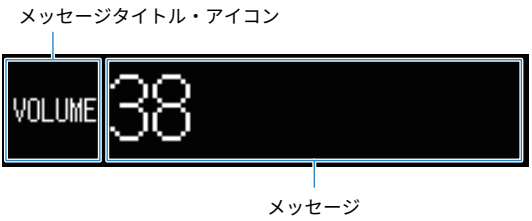


リンクマスターになっていないときにはアンダーラインが表示されます。

■ ショートメッセージについて

入力選択や音量調節など、サウンドバーを操作するとショートメッセージを表示します。

操作完了後、数秒経過すると自動でメッセージは消えます。
次は、音量操作をしたときの例です。



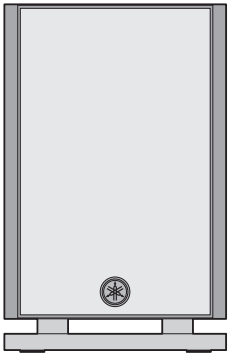
操作できないキーやボタンを押した場合には、「利用できません」と 表示されます。

関連リンク

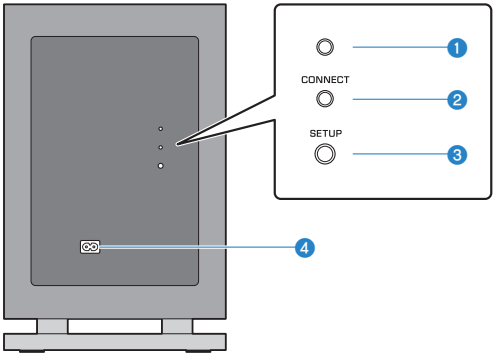
- 「フロントディスプレイの各部の名称と機能」(16ページ)
- 「リモコンの各部名称」(26ページ)

サブウーファーの各部名称

サブウーファーの各部名称と機能について説明します。



前面



背面

❶ **電源ランプ**

サブウーファーの状態を表示します。

詳しくは下記の「サブウーファーのランプ表示」をご覧ください。

❷ **CONNECT（コネクト）ランプ**

サウンドバーとサブウーファーの接続状態を表示します。

詳しくは下記の「サブウーファーのランプ表示」をご覧ください。

❸ **SETUP（セットアップ）ボタン**

サウンドバーとサブウーファーを手動で接続します（172ページ）。

❹ **AC電源入力端子**

サブウーファーの電源コードを接続します。

■ サブウーファーのランプ表示

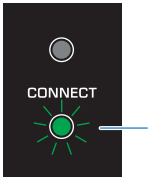
お知らせ

本ガイドでは、ランプの点灯状態を次のように表示します。



消灯　点灯　点滅

サウンドバーとの接続中



ゆっくり点滅（サーチ中）
はやい点滅（サウンドバーへの登録待機中）

電源オフ（スタンバイ）

サウンドバーとの接続完了状態

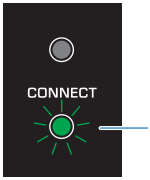


電源オフのとき



電源オンのとき

サウンドバーとの接続が切断された



ゆっくり点滅（サーチ中）

電源オン

30秒間ゆっくり点滅して、電源オフになります。

サウンドバーへの登録待機がタイムアウトした



はやい点滅（１秒間に約2.5回点滅）

保護回路が作動した



とてもはやい点滅（1秒間に約5回点滅）

関連リンク

- 「フロントディスプレイの各部の名称と機能」(16ページ)
- 「サブウーファーを手動で接続する」(172ページ)
- 「電源に接続する」(46ページ)
- 「電源をオンにする」(47ページ)

リモコンの各部名称

リモコンの各部の名称と機能について説明します。



❶ **⏻（電源）キー**

サウンドバーの電源をオン/オフ（スタンバイ）します（47ページ）。

❷ **🔇（消音）キー**

消音のオン/オフを切り替えます（60ページ）。

❸ **CLEAR VOICE（クリアボイス）キー**

クリアボイス 機能のオン/オフを切り替えます（78ページ）。

❹ **BASS EXT（バスエクステンション）キー**

バスエクステンション機能のオン/オフを切り替えます（78ページ）。

❺ **サウンドモードキー**

サウンドモードを切り替えます（73ページ）。

❻ **⚙（設定）キー**

テレビ画面に表示して操作する設定メニューを表示します（88ページ）。

❼ **≣（オプション）キー**

テレビ画面に表示して操作するオプションメニューを表示します（80ページ）。

❽ **ENTER（決定）/カーソル、⮌（リターン）キー**

テレビ画面上やフロントディスプレイでメニュー操作を行います。

テレビ画面上ではENTER（決定）キーを「ENTER◉キー」と表現しています。

❾ **▭（フロントディスプレイメニュー）キー**

フロントディスプレイメニューを表示します（114ページ）。

❿ **VOLUME ＋/－キー**

音量を調節します（60ページ）。

⓫ **INPUTキー**

再生する入力ソースを選択します（60ページ）。

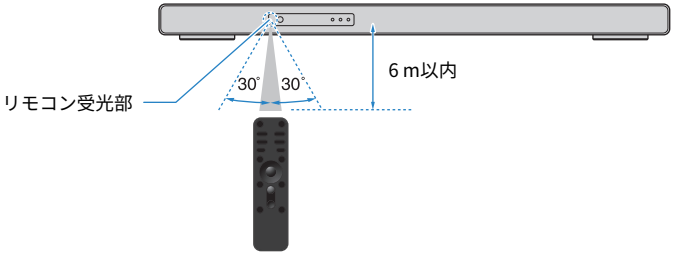
⓬ **INFOキー**

フロントディスプレイに表示される再生中の音声信号の種類や、サウンドバーの各種情報を切り替えます（18ページ）。

■ リモコンの操作範囲

リモコンの操作範囲は、次のイラストのとおりです。

リモコンを本体のリモコン信号受光部に向けて操作してください。



関連リンク

- 「サウンドバーの各部名称（前面/上面）」(12ページ)
- 「フロントディスプレイの各部の名称と機能」(16ページ)
- 「フロントディスプレイの情報画面の切り替え」(18ページ)

ご使用の準備

準備の流れ

1 **リモコンを準備する。**
「リモコンを準備する」(34ページ)

2 **サウンドバーとサブウーファーを設置する。**
「設置する」(35ページ)

3 **テレビとサウンドバーを接続する。**
接続するテレビが搭載する端子や、お使いになる機能に合わせてサウンドバーを接続してください。
「テレビにHDMI接続する」(37ページ)

4 **AV機器を接続する。（必要な場合のみ）**
「AV機器をサウンドバーに接続する」(40ページ)
「AV機器をテレビのHDMI入力端子に接続する」(42ページ)

5 **ネットワーク接続の準備をする。（ネットワークに有線接続する場合）**
「LANケーブルを接続する（有線接続）」(45ページ)

6 **電源に接続する。**
「電源に接続する」(46ページ)

7 **電源をオンにする。**
サウンドバーの電源をオンにすると、サブウーファーがサウンドバーに自動で登録されます。
「電源をオンにする」(47ページ)

8 **サブウーファーの接続を確認する。**
「サブウーファーの接続を確認する」(50ページ)

9 **HDMI コントロール機能を有効にする。（必要な場合のみ）**
「HDMIコントロール機能を有効にする」(51ページ)

10 **サウンドバーからの音声出力を確認する。**
「サウンドバーからの音声出力を確認する」(54ページ)

11 **MusicCastネットワークに接続する。**
「MusicCastネットワークに登録する」(58ページ)

準備に関する注意事項

サウンドバーを設置して他の機器を接続する前に、次の注意事項を必ずお読みください。
注意事項は必ずお守りください。

■ リモコンの電池に関する注意事項

リモコンに電池を入れる前に、次の注意事項を必ずお読みください。注意事項は必ずお守りください。

警告

- 電池を火の中に入れないでください。電池を日光や火のような高温にさらさないでください。リモコンに入っている電池を充電しないでください。破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。
- 電池を分解しないでください。電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れないでください。電池の中のものに触れたりすると、失明や化学やけどの原因になります。万一液が目や口に入ったり皮膚についたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。

注意

- 指定以外の電池を使用しないでください。火災、やけど、または液漏れによる炎症の原因になります。
- 電池は+/−の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れていない場合、火災、やけど、または液漏れによる炎症の原因になります。
- 長時間使用しない場合や電池を使い切った場合は、電池をリモコンから抜いてください。電池が消耗した結果、電池から液漏れが発生して、炎症やリモコンの損傷の原因になります。
- 電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しないでください。電池がショートし、破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。
- 電池を保管する場合および廃棄する場合には、テープなどで端子部を絶縁してください。他の電池や金属製のものと混ぜると、火災、やけど、または液漏れによる炎症の原因になります。

ご注意

- 付属の電池は動作確認用です。電池が消耗している可能性があるため、動作確認後はなるべく早く新しい電池と交換してください。

■ 設置時の注意事項

警告

- ユーザーガイドで指示された方法で設置してください。落下や転倒して、けがや破損の原因になります。
- 設置後は必ず安全性を確認してください。定期的に安全点検を実施してください。落下や転倒して、けがや破損の原因になります。
- 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところや水がかかるところで使用しないでください。本製品の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かないでください。内部に水などの液体が入ると、火災や感電、または故障の原因になります。
- 本製品の近くで、火気を使用しないでください。火災の原因になります。
- 医療機器の近くなど電波の使用が制限された区域で使用しないでください。本製品が発する電波により、医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

注意

- 不安定な場所や振動する場所に置かないでください。本製品が落下や転倒して、けがや故障の原因になります。
- 本製品を設置する際は、放熱を妨げないようにしてください。機器内部に熱がこもり、火災や故障、誤動作の原因になります。
- 地震など災害が発生した場合は本製品に近づかないでください。本製品が転倒または落下して、けがの原因になります。

ご注意

- 塩害や腐食性ガスが発生する場所、油煙や湯気の多い場所に設置しないでください。故障の原因になります。
- 本製品のスピーカーユニットや布の部分を強く押さないでください。
- 磁気に弱いもの（ハードディスクドライブ、磁気カードなど）を周囲に置かないでください。サウンドバーが発する磁気の影響で、置いたもの自体や収録されたデータが破損するおそれがあります。
- 直射日光のあたる場所やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本製品のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- 無線機能を使用する場合は、金属製の壁や机、電子レンジ、他の無線ネットワーク機器の近くへの設置を避けてください。遮蔽物があると通信可能距離が短くなる場合があります。
- サウンドバーとサブウーファーを直接重ねないでください。また、本製品の上や下にほかのAV機器を直接重ねないでください。振動により機器が故障することがあります。
- サブウーファーは次のように設置しないでください。低音が不足するおそれがあります。
  ・スピーカーユニット（布の部分）を壁に密着させる
  ・バスレフポートをふさぐ
- サブウーファーは縦置き専用です。横向きに設置しないでください。
- サウンドバー本体とサブウーファーの間に金属製の家具などを設置しないでください。無線通信が途切れるおそれがあります。

■ 接続時の注意事項

警告

- 電源は本製品に表示している電源電圧で使用してください。誤って使用すると、火災、感電または故障の原因になります。
- 電源コードは、必ず付属品を使用してください。付属の電源コードをほかの機器に使用しないでください。誤って使用すると、火災、感電または故障の原因になります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。また、ぬれた手で本製品を扱わないでください。感電や故障の原因になります。
- 落雷のおそれがあるときは、電源プラグやコードに触らないでください。感電の原因になります。
- 電源プラグは、目に見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続してください。万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。 電源を切った状態でも電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。
- 長期間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。火災や故障の原因になります。
- 電源プラグを定期的に確認し、ほこりが付着している場合はきれいに拭き取ってください。火災または感電の原因になります。

注意

- 電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントを使用しないでください。火災、感電、やけどの原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜いてください。電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。
- 電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込んでください。差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積したりして火災ややけどの原因になります。

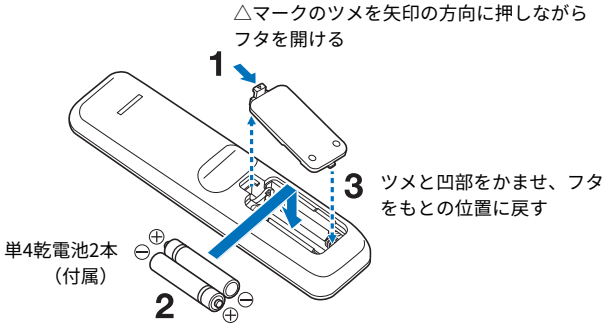
ご注意

- 外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。説明に従って正しく取り扱わない場合、故障の原因になります。
- 業務用機器とは接続しないでください。本製品は民生用の機器と接続する目的で設計されています。業務用機器に接続すると、故障の原因になります。

リモコンを準備する

- リモコンに電池を入れる前に、次の注意事項をご覧ください。
  - 「準備に関する注意事項」(30ページ)

付属の乾電池を、正しい向き（＋と－）でリモコンに入れてください。



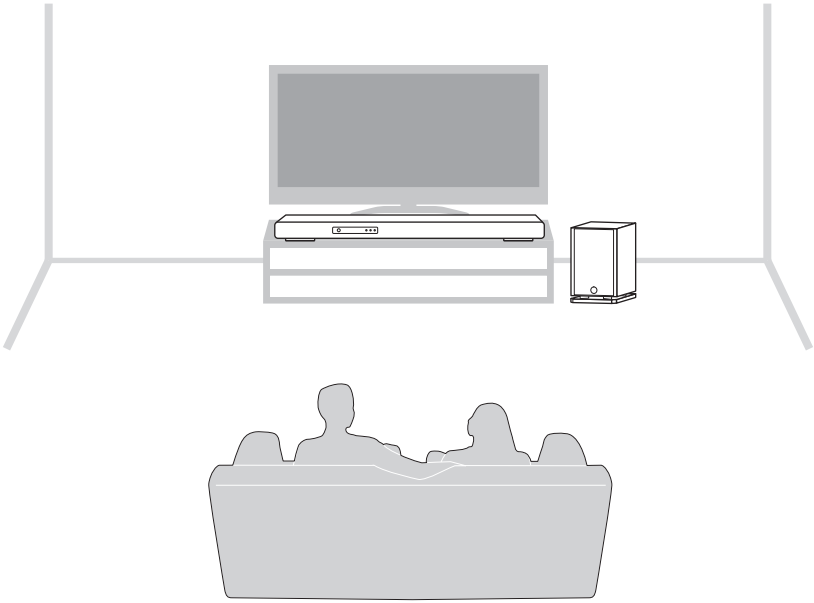
次の手順

- 「設置する」(35ページ)

設置する

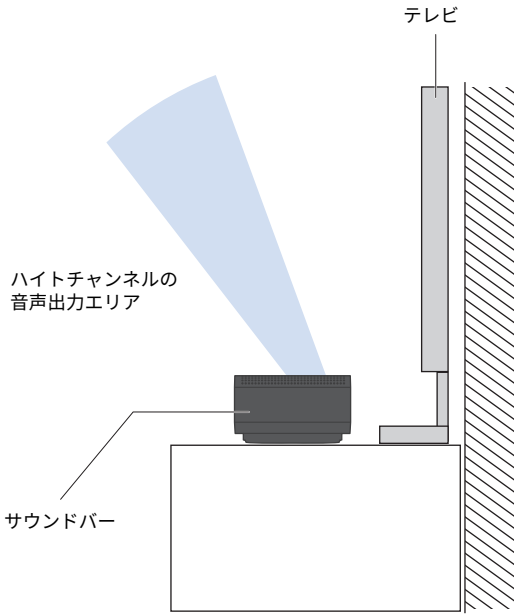
- 設置する前に、次の注意事項をご覧ください。
  - 「準備に関する注意事項」(30ページ)

次の図は、サウンドバーとサブウーファーの設置例です。サブウーファーはサウンドバーの外側に設置します。音が壁に反射するなど、サブウーファーの向きにより音に悪影響があると感じた場合は、サブウーファーの正面を図のように少し内側に向けると改善することがあります。



ご注意

- サウンドバーの上面には、ハイトチャンネルの音声を出力するハイトスピーカーが搭載されています。
  サウンドバーの上面にスペースを空けることで、ハイトチャンネルの音声が妨げられることなく出力されます。それにより、最適なサラウンド音場を得られます。



お知らせ

サウンドバーを壁に取り付けることもできます。安全な取り付けのため、施工はお買い上げの販売店または専門の施工会社に依頼してください。詳しくは、次のウェブサイトをご覧ください。
https://manual.yamaha.com/audio/sound_bar/wallmount/sr-x90a/

次の手順

- 「テレビにHDMI接続する」(37ページ)

テレビに接続する

テレビにHDMI接続する

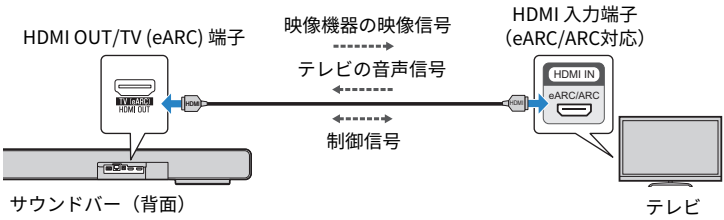
- 接続する前に、次の注意事項をご覧ください。
  - 「準備に関する注意事項」(30ページ)

お知らせ

- HDMIロゴ入りのHDMIケーブル（19ピン）をご使用ください。
- 信号の劣化を防ぐため、なるべく短いHDMIケーブルをご使用ください。
- eARC/ARC機能を使う場合は、イーサネット対応ハイスピードHDMIケーブルなど、eARC/ARCに対応したHDMIケーブルをご使用ください。
- 3D映像、4K Ultra HD映像をお楽しみになる場合は、プレミアムハイスピードHDMIケーブルまたはイーサネット対応プレミアムハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。
- テレビ側の設定が必要な場合があります。テレビの取扱説明書もご参照ください。

■ eARC/ARC機能を使用する

テレビがeARCまたはARCに対応している場合は、HDMIケーブル1本でテレビの音声をサウンドバーで再生できます。ARC機能を使用する場合は、HDMI コントロール機能をオンにする必要があります。



使用するケーブル

HDMIケーブル（市販）

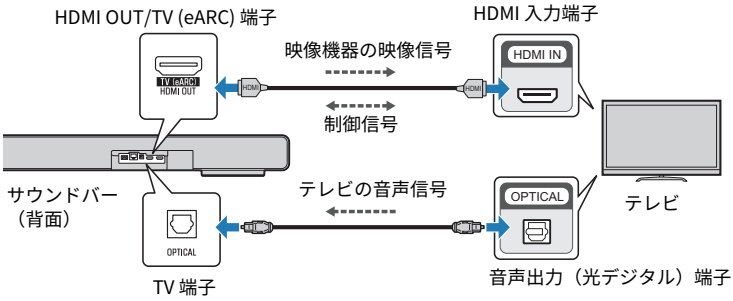
お知らせ

- ARCとは、Audio Return Channel（オーディオ・リターン・チャンネル）の略称です。 テレビのARC対応HDMI入力端子とAV機器（AVレシーバーやサウンドバーなど）のARC対応HDMI出力端子をHDMIケーブルで接続することで、光ケーブルなどを接続することなくテレビの音声をAV機器で再生できます。
- eARCとは、Enhanced Audio Return Channel（エンハンスド・オーディオ・リターン・チャンネル）の略称です。 ARCの機能を拡張したもので、非圧縮の5.1ch、7.1ch、オブジェクトベースオーディオなどもテレビ経由で伝送できます。

■ 光デジタルケーブルを接続する

テレビがeARCまたはARCに対応していない場合は、光デジタルケーブル（市販品）も接続してください。

HDMIケーブルは、テレビのリモコンでサウンドバーを操作するための制御信号を伝送します（HDMI コントロール機能）。また、サウンドバーのHDMI IN端子にAV機器を接続した場合は、映像信号をテレビに伝送します。HDMI コントロール機能を使用する場合は、サウンドバーのHDMI コントロール機能をオンにしてください。



使用するケーブル

光デジタルケーブル（市販）

HDMIケーブル（市販）

次の手順

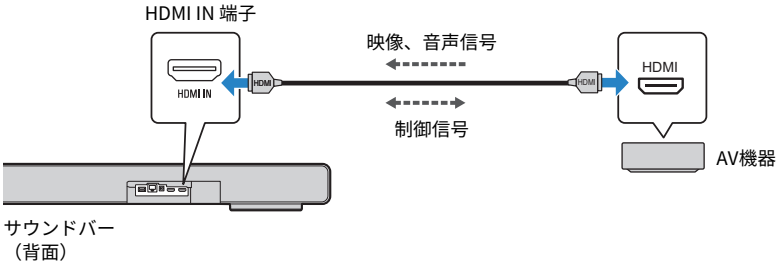
- AV機器を接続する場合：
  - 「AV機器をサウンドバーに接続する」(40ページ)
  - 「AV機器をテレビのHDMI入力端子に接続する」(42ページ)
- AV機器を接続しない場合：
  - ネットワークに有線接続する：
    「ネットワークに接続するには」(44ページ)
  - ネットワークに無線接続する：
    「電源に接続する」(46ページ)

AV機器を接続する

AV機器をサウンドバーに接続する

- 接続する前に、次の注意事項をご覧ください。
  - 「準備に関する注意事項」(30ページ)

HDMIケーブル（市販品）を使って、サウンドバーにAV機器（ブルーレイディスクプレーヤーやメディアストリーミング端末など）を直接接続します。



使用するケーブル

HDMIケーブル（市販）

お知らせ

- AV機器の音声を出力するには、次のように入力を設定してください。
  - サウンドバーの入力：HDMI
- サウンドバーの設定メニュー「HDMI 設定」＞「パススルー」を「オン」または「自動」にすると、サウンドバーの電源がオフのときでもテレビでAV機器の映像や音声を再生できます（HDMI信号パススルー）。初期設定は「自動」です。
- HDMIロゴ入りのHDMIケーブル（19ピン）をご使用ください。
- 信号の劣化を防ぐため、なるべく短いHDMIケーブルをご使用ください。
- 3D映像、4K Ultra HD映像をお楽しみになる場合は、プレミアムハイスピードHDMIケーブルまたはイーサネット対応プレミアムハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。

次の手順

- ネットワークに有線接続する場合：
  - 「ネットワークに接続するには」(44ページ)
- ネットワークに無線接続する場合：
  - 「電源に接続する」(46ページ)

関連リンク

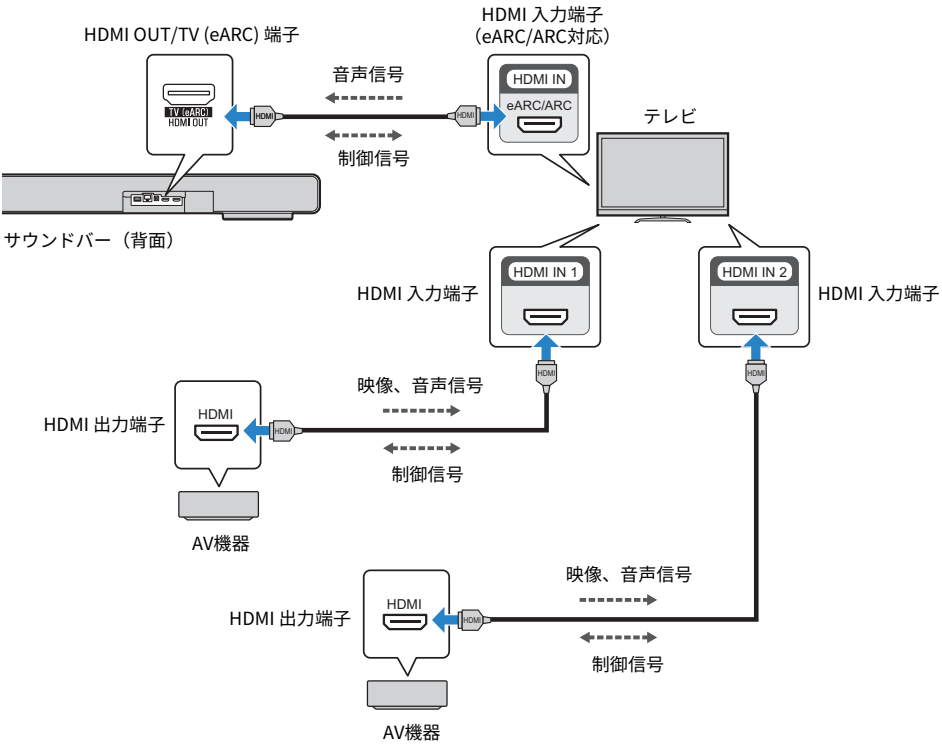
「AV機器をテレビのHDMI入力端子に接続する」(42ページ)

AV機器をテレビのHDMI入力端子に接続する

- 接続する前に、次の注意事項をご覧ください。
  - 「準備に関する注意事項」(30ページ)

HDMIケーブル（市販品）を使って、テレビにAV機器（ブルーレイディスクプレーヤーやメディアストリーミング端末など）を接続し、サウンドバーから音声を出力します。 接続するAV機器が複数ある場合は、この方法で接続してください。

お使いのテレビによっては、AV機器から入力した高品位の音声信号を別の音声信号に変換して伝送することがあります。AV機器から出力された音声信号の特性を最大限に生かしたサウンドで再生するには、サウンドバーのHDMI IN端子にAV機器を接続してください。



使用するケーブル

HDMIケーブル（市販）

お知らせ

- AV機器の音声を出力するには、次のように入力を設定してください。
  ・サウンドバーの入力：TV (HDMI OUT/TV (eARC))
  ・テレビの入力切換：再生するAV機器
- ARCとは、Audio Return Channel（オーディオ・リターン・チャンネル）の略称です。 テレビのARC対応HDMI入力端子とサウンドバーやAVレシーバーなどのARC対応HDMI出力端子をHDMIケーブルで接続することで、光ケーブルなどを接続することなくテレビの音声をサウンドバーやAVレシーバーで再生できます。
- eARCとはEnhanced Audio Return Channel（エンハンスド・オーディオ・リターン・チャンネル）の略称です。 ARCの機能を拡張したもので、ARCでは伝送できない音声信号もテレビ経由で伝送できます。
- サウンドバーをテレビのARC対応のHDMI入力端子に接続した場合は、サウンドバーのHDMI コントロール機能をオンにしてください。
- HDMIロゴ入りのHDMIケーブル（19 ピン）をご使用ください。
- 信号の劣化を防ぐため、なるべく短いHDMIケーブルをご使用ください。
- ARCやeARC機能を使用する場合は、イーサネット対応ハイスピードHDMIケーブルなど、eARC/ARCに対応したHDMIケーブルをお使いください。
- 3D映像、4K Ultra HD映像をお楽しみになる場合は、プレミアムハイスピードHDMIケーブルまたはイーサネット対応プレミアムハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。

次の手順

- ネットワークに有線接続する場合：
  ・「ネットワークに接続するには」(44ページ)
- ネットワークに無線接続する場合：
  ・「電源に接続する」(46ページ)

関連リンク

「AV機器をサウンドバーに接続する」(40ページ)

ネットワーク接続の準備をする

ネットワークに接続するには

サウンドバーは有線接続と無線接続に対応しています。

ネットワークに接続すると、ネットワーク機能を使用したり、ネットワーク経由でファームウェアをアップデートしたりできます。

ネットワーク機能を使用するには、「MusicCastネットワーク」に登録し、スマートフォンアプリ「MusicCast Controller」を使用する必要があります。

MusicCast Controllerから、各種ストリーミングサービスやネットワーク接続ストレージ（NAS）などのメディアサーバーに保存されている音楽ファイルをサウンドバーで再生できます。

MusicCastネットワークへの登録はサウンドバーの電源をオンにしたあとに行います。登録と同時に無線接続設定もできます。詳しくは関連リンクをご覧ください。

有線接続でネットワークを使用したい場合は、サウンドバーの電源をオンにする前にサウンドバーにLANケーブルを接続してください。詳しくは関連リンクをご覧ください。

ご注意

- 本製品をインターネットに接続する場合は、セキュリティーを保つため必ずルーターなどを経由し接続してください。経由するルーターなどには適切なパスワードを設定してください。電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線LANを含む）には直接接続しないでください。

お知らせ

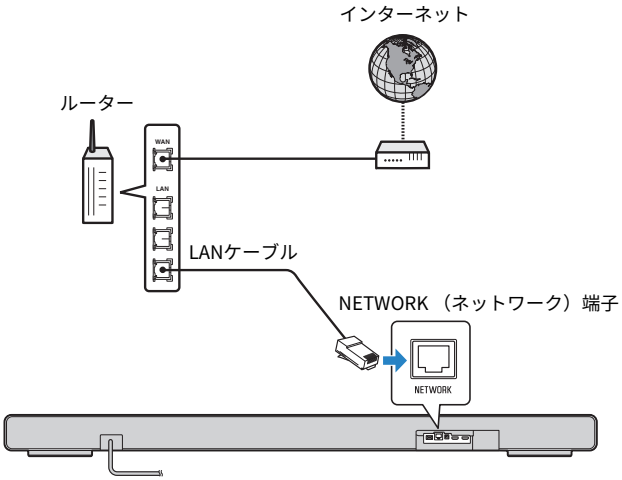
- 有線接続するには、電源に接続する前にLANケーブルをサウンドバーに接続します。詳しくは関連リンクをご覧ください。
- 国や地域によって、提供されるストリーミングサービスは異なります。

関連リンク

- 「LANケーブルを接続する（有線接続）」(45ページ)
- 「MusicCastネットワークに登録する」(58ページ)

LANケーブルを接続する（有線接続）

市販のLANケーブル（CAT-5以上のSTPストレートケーブル）を使って、サウンドバーをルーターに接続します。これで有線接続は完了です。



ご注意

- サウンドバーをインターネットに接続する場合は、セキュリティーを保つため必ずルーターなどを経由し接続してください。経由するルーターなどには適切なパスワードを設定してください。電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線LANを含む）には直接接続しないでください。
- 電磁干渉防止のためには、STP（Shielded Twisted Pair）ケーブル（シールド付きツイストペアケーブル）をお使いください。
- ルーターがDHCPサーバー非対応の場合や、ネットワーク情報を手動で割り当てる場合は、ネットワーク設定が必要になります。

次の手順

- 「電源に接続する」(46ページ)

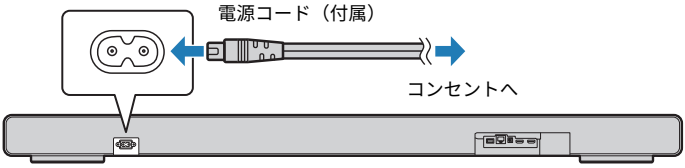
関連リンク

- 「ネットワークに接続するには」(44ページ)
- 「MusicCastネットワークに登録する」(58ページ)
- 「ネットワークの設定をする」(107ページ)

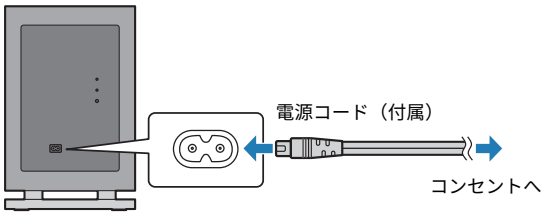
電源に接続する

- 接続する前に、次の注意事項をご覧ください。
  - 「準備に関する注意事項」(30ページ)

テレビやAV機器との接続が完了したら、サウンドバーとサブウーファーをコンセントに接続してください。



サウンドバー（背面）



サブウーファー（背面）

次の手順

- 「電源をオンにする」(47ページ)

電源をオンにする

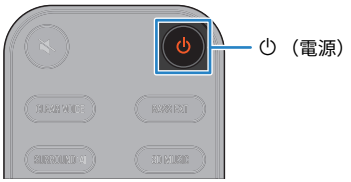
本製品の電源をオンにします。

サウンドバー前面のフロントディスプレイが消灯した状態で、サブウーファー背面の電源ランプが緑色に点滅、または赤色に点滅しているのを確認してから、サウンドバーの電源をオンにしてください。

1 **テレビの電源をオンにする。**

2 **リモコンの⏻（電源）キーを押す。**

サウンドバーの電源をオンにすると、サブウーファーと自動的に無線接続され、フロントディスプレイに設定状態に応じた内容が表示されます。

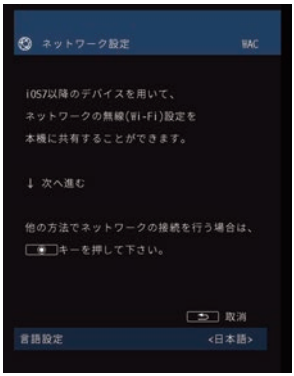


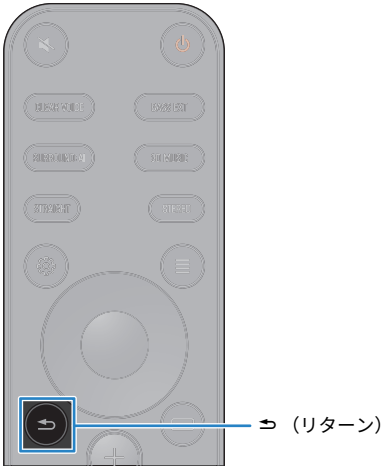
3 テレビの入力をサウンドバーにする。

テレビの入力でサウンドバーを選択してください。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

LAN ケーブルを接続していない場合は、テレビ画面に次のようなネットワーク設定に関するメッセージが表示されます。

ここでは、サウンドバーのリモコンの⮌（リターン）キーを押していったんキャンセルしてください。





お知らせ

電源がオンになっているときに⏻（電源）キーを押すと、電源をオフにできます。電源をオフにすると、フロントディスプレイが消灯します。

次の手順

- 「サブウーファーの接続を確認する」(50ページ)

サブウーファーの接続を確認する

サブウーファーがサウンドバーに接続されているか確認してください。

次のような状態になっていれば、サブウーファーはサウンドバーに接続されています。

- サウンドバーのフロントディスプレイにSWアイコンが表示されている



点灯：接続済み
消灯：未登録または未接続

- サブウーファーのCONNECTランプが緑色に点灯している

お知らせ

サブウーファーの電源ランプが赤色にはやく点滅している場合は、サブウーファーに異常が発生している可能性があります。「よくあるご質問」（137ページ）をご覧ください。

次の手順

- HDMI コントロール機能をオンにする場合：
  - 「HDMIコントロール機能を有効にする」(51ページ)
- MusicCastネットワークに登録する場合：
  - 「MusicCastネットワークに登録する」(58ページ)

HDMIコントロール機能を有効にする

HDMI コントロール機能をオンにすることで、テレビの操作に連動させるなど便利な機能を使用することができます。 ARCのみ対応のテレビの音声を聴くには、HDMI コントロール機能をオンにする必要があります。必要に応じてHDMI コントロール機能をオンにしてください。

お知らせ

初期設定は以下のとおりです。

- ヨーロッパ・イギリス向けモデル：オフ
- その他の地域向けモデル：オン

HDMIコントロール機能とは

HDMIケーブルでサウンドバーとテレビを接続し、HDMI コントロール機能をオンにすると、次のようなことができます。

- テレビの電源オン/オフと連動する
- テレビのリモコンでサウンドバーの音量を調節する
- 入力を自動で「TV」に切り替える
- テレビの音声をサウンドバーから出力するときに、ARC機能を利用する

■ テレビの音声を聴くためにHDMI コントロール機能が必要な場合

HDMIケーブルでARCのみに対応したテレビと接続している場合は、HDMI コントロール機能とARC機能をオンにする必要があります。

「HDMI コントロール」が「オン」のときに、「ARC」の設定ができます。「HDMI コントロール」の初期設定は「オフ」で、「ARC」の初期設定は「オン」です。

接続するテレビのHDMI端子	HDMI コントロール機能がオフでもテレビの音声が聴ける
eARC/ARC対応HDMI IN端子	○
HDMI IN端子とOPTICAL端子	○
ARC対応HDMI IN端子	×

お知らせ

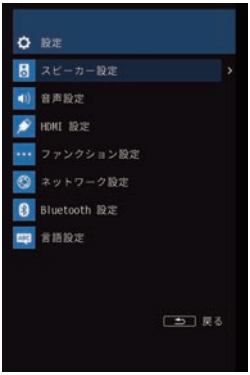
サウンドバーの操作だけでテレビの音が出ない場合は、テレビの取扱説明書もご覧ください。

■ HDMI コントロール機能を有効にする

テレビ画面上に表示したサウンドバーの設定メニューから「HDMI コントロール」を「オン」にします。

1 **（設定）キーを押す。**

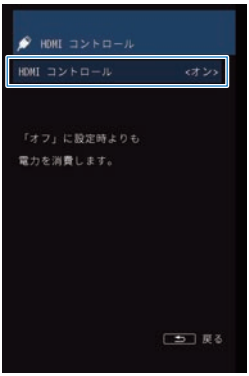
テレビ画面に設定メニュー画面が表示されます。



2 **「HDMI 設定」＞「HDMI コントロール」を選ぶ。**



3 HDMI コントロール画面で「オン」を選ぶ。



4 ⚙（設定）キーを押す。
設定メニュー画面が閉じます。

これで設定完了です。

お知らせ

- HDMI コントロール機能をオンにすると、オフのときよりも電力を消費します。
- テレビのARCのみに対応したHDMI端子とサウンドバーのHDMI OUT/TV (eARC)端子を接続する場合は、「ARC」も「オン」にしてください。初期設定は「オン」です。

関連リンク

「HDMIの設定をする」(101ページ)

次の手順

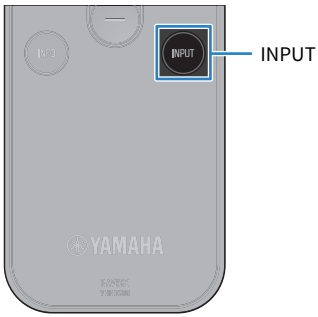
- 「サウンドバーからの音声出力を確認する」(54ページ)

サウンドバーからの音声出力を確認する

サウンドバーから音声が出力されているか、実際にコンテンツを再生して確認します。

■ テレビの音声を確認する

サウンドバーに接続したテレビを視聴し、サウンドバーからテレビの音声が出ているか確認してください。出ていない場合は、リモコンのINPUTキーを押して入力ソースを「TV」に切り替えてください。



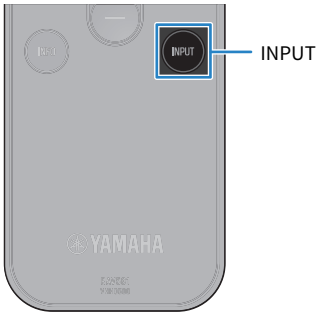
お知らせ

- テレビのスピーカーとサウンドバーの両方から音声が出ている場合は、テレビを消音してください。
- テレビにAV機器を接続している場合も、同様に入力ソースを「TV」に切り替えて、サウンドバーから音声が出力されているか確認してください。

■ AV機器の音声を確認する

サウンドバーのHDMI IN端子に接続したAV機器を再生し、リモコンのINPUTキーを押して入力ソースを「HDMI」に切り替えます。

サウンドバーからAV機器の音声が出ているか確認してください。



お知らせ

AV機器をサウンドバーのHDMI IN端子に接続した場合、サウンドバーとテレビを接続したHDMIケーブルにより、AV機器の映像信号がテレビに伝送されます。

MusicCastを設定する

MusicCastについて

MusicCastを使えば、複数の部屋に設置したMusicCast対応機器で、音楽を共有できます。スマートフォンアプリ「MusicCast Controller」により、簡単な操作で家庭内のどこにいても、スマートフォンやメディアサーバー（パソコン/NAS）、インターネットラジオ、ストリーミングサービスの音楽を楽しめます。

MusicCast の詳細と対応機器については、ヤマハのホームページをご覧ください。

関連リンク

- 「MusicCast Controllerについて」(57ページ)
- 「MusicCastネットワークに登録する」(58ページ)

MusicCast Controllerについて

MusicCast対応機器でネットワーク機能を使うためには、スマートフォンアプリ「MusicCast Controller」が必要です。App StoreまたはGoogle Playで「MusicCast Controller」（無料）を検索し、インストールしてください。

MusicCastネットワークに登録する

サウンドバーをMusicCastネットワークに登録します。同時にサウンドバーのネットワークの無線接続設定も行えます。

MusicCastネットワークに登録するには、スマートフォンアプリ 「MusicCast Controller」が必要です。App StoreまたはGoogle Playで「MusicCast Controller」（無料）を検索し、インストールしてください。

お使いになるスマートフォンがご家庭のルーターに接続されているか、確認してから操作してください。

1 スマートフォンで「MusicCast Controller」を起動し、「設定する」をタップする。

すでに別の MusicCast 機器を登録している場合は、「設定」タブをタップしてから「新しい機器を登録する」をタップします。

2 「MusicCast Controller」の案内にしたがって、サウンドバー前面の INPUT/CONNECTボタンを 5 秒以上押し続ける。



INPUT (CONNECT)

登録モードに入ると、（無線LAN）アイコンが点滅します。

3 「MusicCast Controller」の案内にしたがって、MusicCast ネットワークへの接続設定をする。

これでMusicCastネットワークへの登録は完了です。

お知らせ

- サウンドバーと無線LAN ルーター（アクセスポイント）が離れていると接続できない場合があります。そのような場合はサウンドバーと無線LANルーター（アクセスポイント）を近づけて設置してください。
- ネットワークに無線接続する場合は、使用する無線LANルーター（アクセスポイント）のSSIDとセキュリティーキーを用意してください。
- MusicCast Controllerの画面、メニュー名称などは予告なく変更される場合があります。

関連リンク

「MusicCast Controllerについて」(57ページ)

再生

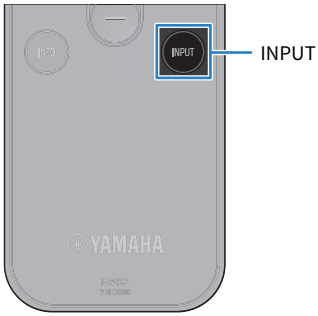
基本操作

再生の基本操作

再生する場合の基本的な操作方法を説明します。

■ 入力の選択

INPUTキーを押すと、入力ソースが切り替わります。



入力ソース名は次のようにフロントディスプレイに表示されます。また、テレビ画面にショートメッセージでも表示されます。

- HDMI：HDMI IN端子に接続した機器の音声
- OPTICAL：OPTICAL端子に接続した機器の音声
- TV：HDMI OUT/TV (eARC)端子またはOPTICAL端子に接続したテレビの音声
- ネットワーク入力名（例：SERVER/NET RADIOなど）：ストリーミングサービスなどの音声
- Bluetooth：Bluetooth機器の音声

お知らせ

- 「TV」は以下のように動作します。
  - ・eARC機能を使用する場合は、eARC経由の音声を再生します。
  - ・ARC機能を使用する場合は、ARC経由の音声を再生します。この場合、設定メニューの「HDMI コントロール」を「オン」、「ARC」を「オン」に設定する必要があります。
  - ・eARC/ARCを使用しない場合は、OPTICAL端子に接続している機器（テレビ）の音声を再生します。
- ネットワーク入力の種類（SERVER/NET RADIOなど）はスマートフォンアプリMusicCast Controller から選択できます。
- INPUTキーを押してネットワーク入力に切り替えた場合は、最後に選択していた入力が選択されています。ネットワーク入力を変更する場合はMusicCast Controllerを使用してください。

■ 音量の調節

VOLUME ＋/－キーを押して、音量を調節します。



音量の調整中は次のようにフロントディスプレイに表示されます。また、テレビ画面にも音量が表示されます。



通常表示ではフロントディスプレイの右上に音量が表示されます。



テレビのスピーカーとサウンドバーの両方から音声が出力されている場合は、テレビを消音してください。

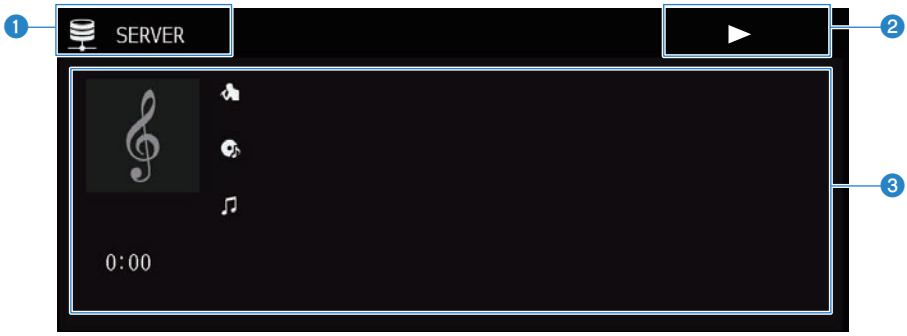
一時的にサウンドバーを消音するには、リモコンの🔇（消音）キーを押します。消音を解除するには、🔇（消音）キーをもう一度押すか、VOLUME ＋/－キーを押してください。

関連リンク

「HDMIコントロール機能を有効にする」(51ページ)

再生画面について

再生を開始すると、テレビに再生画面が表示されます。



❶ 入力情報

入力ソースの情報が表示されます。

❷ 再生ステータス表示

シャッフル再生/リピート再生の設定、再生状態（再生/一時停止など）が表示されます。

❸ 再生情報

アーティスト名、曲名、アルバム名、再生トラック、再生時間、放送局などが表示されます。

お知らせ

- 上の画像はメディアサーバー（パソコンやNAS）の音楽を再生した場合の例です。入力ソースによって表示が異なります。
- AirPlay、Spotify、MusicCast Linkでは再生画面は表示されません。

テレビの音声を聴く

eARC/ARCを使用してテレビの音声を聴く

eARC/ARC対応のテレビとサウンドバーをHDMIケーブル（市販品）で接続すると、テレビの音声をサウンドバーで再生できます。

HDMI コントロール機能がオンの場合は、テレビの入力切替に合わせてサウンドバーの入力を自動で切り替えることができます。

お知らせ

- eARCを使用していて、HDMI コントロール機能がオフの場合は、テレビのリモコンで番組を選択しても、サウンドバーの入力が自動的に切り替わりません。入力を手動で「TV」に切り替えてください。
- ARCを使用する場合は、HDMI コントロール機能とARC機能をオンにする必要があります。
- テレビ側の設定が必要な場合があります。テレビの取扱説明書もご参照ください。
- テレビがeARC/ARC対応でない場合や、eARC/ARC使用時に音声が途切れる場合は、光デジタルケーブルでサウンドバーとテレビを接続してください。

関連リンク

- 「テレビにHDMI接続する」(37ページ)
- 「HDMIの設定をする」(101ページ)

光デジタルケーブルで接続したテレビの音声を聴く

次の場合は、光デジタルケーブル（市販品）を使って、テレビの音声をサウンドバーに入力できます。

- テレビがeARC/ARC非対応
- eARC/ARCを使用しない

1 **設定メニューの「HDMI 設定」＞「ARC」を「オフ」にする。**

2 **テレビのリモコンで視聴コンテンツ（番組）を選ぶ。**
サウンドバーの入力が自動的に「TV」に切り替わり、テレビの音声がサウンドバーから出力されます。

お知らせ

- テレビのHDMI入力端子がeARC/ARC非対応の場合でも、HDMIケーブルでサウンドバーとテレビを接続することで、HDMI コントロール機能を使用できます。
- HDMI コントロール機能をオフにした場合は、INPUTキーを押して入力を「OPTICAL」に切り替えてからテレビのリモコンを操作してください。

関連リンク

「HDMIの設定をする」(101ページ)

Bluetooth®接続で再生する

Bluetooth®機器の音声を再生する

Bluetooth機器（スマートフォンなど）に保存した音楽ファイルなどをサウンドバーで再生します。

注意

- Bluetooth機器で音量を調節すると、予想外に音量が大きくなり、聴覚障害や機器の損傷の原因になる場合があります。 再生中に音量が大きくなってしまった場合は、すぐに再生を停止してください。



サウンドバー



Bluetooth機器
（スマートフォンなど）

1 **INPUTキーを押して、入力を「Bluetooth」に切り替える。**

2 **Bluetooth機器でサウンドバー（サウンドバーのネットワーク名称）を選んでペアリングする。**
パスキーの入力が必要な場合は、数字「0000」を入力してください。

3 **Bluetooth機器で音声を再生する。**
テレビに再生画面が表示されます。

お知らせ

- A2DPプロファイルに対応したBluetooth機器に対応しています。すべてのBluetooth機器に対する接続を保証するものではありません。
- すべてのBluetooth機器に対して、Bluetooth接続および本ガイド記載の機能・性能を保証するものではありません。
- ペアリング済みのBluetooth機器を検出した場合は、入力を「Bluetooth」に切り替えると自動的に接続されます。
  別のBluetooth機器とペアリングするには、現在のペアリングを切断してから行ってください。
- 再生中はBluetooth機器からサウンドバーの音量を操作できます。
- Bluetooth機器との接続を切断するには、次のいずれかの操作をします。
  ・Bluetooth機器で切断操作をする。
  ・サウンドバーの入力を「Bluetooth」以外に切り替える。
  ・設定メニューの「Bluetooth 設定」＞「音声受信」＞「デバイス切断」でENTER（決定）キーを押す。
- Bluetooth機器が接続されているときは、フロントディスプレイの（Bluetooth）アイコンが点灯します。

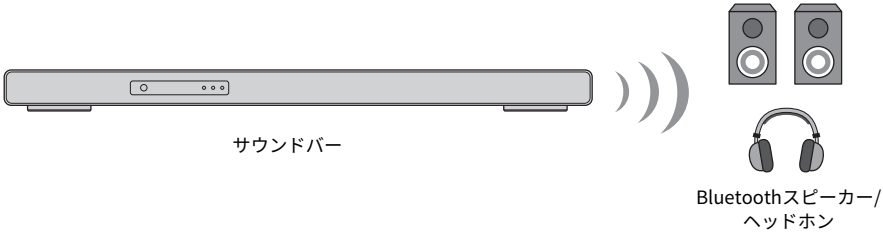


Bluetoothアイコン

サウンドバーの音声をBluetooth®対応スピーカーなどで再生する

サウンドバーで再生している音声をBluetoothスピーカー/ヘッドホンに出力します。

必ず音量調節ができるBluetoothスピーカー/ヘッドホンと接続してください。サウンドバーでは、音量の調節ができません。



1. **INPUTキーを押して「Bluetooth」以外の入力を選ぶ。**
2. **⚙（設定）キーを押す。**
3. **設定メニューの「Bluetooth 設定」＞「音声送信」＞「音声送信機能」を「オン」にする。**
4. **設定メニューの「Bluetooth 設定」＞「音声送信」＞「デバイス検索」から、Bluetoothスピーカー/ヘッドホンを選ぶ。**
   接続が完了すると「完了しました」と表示され、Bluetoothスピーカー/ヘッドホンから音声が出力されます。

お知らせ

- A2DPプロファイルに対応したBluetooth機器に対応しています。すべてのBluetooth機器に対する接続を保証するものではありません。
- すべてのBluetooth機器に対して、Bluetooth接続および本ガイド記載の機能・性能を保証するものではありません。
- 音量の調節は、接続したBluetooth機器側で行ってください。
- AirPlayの音声は送信できません。
- Bluetooth 機能の「音声送信」と「音声受信」は、同時に使用できません。
- 接続したいBluetooth機器が一覧に表示されない場合は、Bluetooth機器をペアリング状態にしてから、再度「デバイス検索」をしてください。
- Bluetooth機器との接続を切断するには、次のいずれかの操作をします。
  ・Bluetooth機器で切断操作をする。
  ・設定メニューの「Bluetooth 設定」＞「音声送信」＞「音声送信機能」を「オフ」に設定する。
- Bluetooth機器が接続されているときは、フロントディスプレイの（Bluetooth）アイコンが点灯します。



Bluetoothアイコン

MusicCast Controller（アプリ）で再生する

ストリーミングサービスを再生する

各種ストリーミングサービスが配信するコンテンツを再生できます。

各ストリーミングサービスの専用アプリを使用するか、MusicCast Controllerから、ストリーミングサービスやコンテンツの選択ができます。

対応しているストリーミングサービスについては、ヤマハウェブサイトの製品情報ページ、またはMusicCast Controllerをご覧ください。

また、次のウェブサイトでも各ストリーミングサービスについての補足情報を掲載しています。

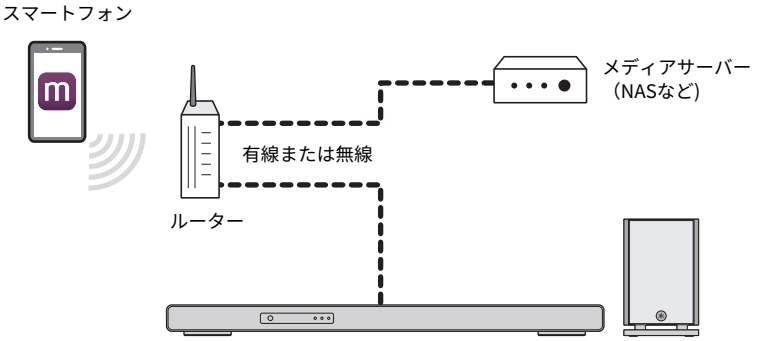
https://manual.yamaha.com/av/mc/ss/

お知らせ

- ストリーミングサービスによって、有料サービスの申し込みが必要になる場合があります。詳しくは、サービス提供者のウェブサイトをご覧ください。
- ストリーミングサービスについては、予告なく変更、停止または終了することがあります。ヤマハ株式会社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

オーディオファイルを再生する

スマートフォンにインストールしたMusicCast Controllerを使って、スマートフォンやメディアサーバー（パソコンやNAS）の音楽をネットワーク経由で再生します。 スマートフォンアプリMusicCast Controllerの画面にしたがって操作してください。



お知らせ

- 事前に、各機器またはメディアサーバーソフトでのメディア共有設定を有効にする必要があります。詳しくは各機器またはソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
- DRM（デジタル著作管理）により保護されたファイルは再生できません。
- スマートフォンやメディアサーバー、およびサウンドバーが同じネットワークに接続されている必要があります。
- メディアサーバー（パソコンやNAS）にインストールされているサーバーソフトにより、再生可能フォーマットが異なります。詳しくはサーバーソフトの取扱説明書をご覧ください。

インターネットラジオを再生する

スマートフォンにインストールしたMusicCast Controllerを使って、インターネットラジオを再生します。 MusicCast Controllerの画面にしたがって操作してください。

お知らせ

- この機能は、airable.Radioのサービスを利用します。airableは、airable GmbHが提供するサービスです。
- 本サービスについては、予告なく変更、停止または終了することがあります。ヤマハ株式会社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- インターネットラジオ局や時間帯によっては、受信できないことがあります。

AirPlayで音楽を再生する

AirPlayを使って、音楽などをサウンドバーで再生します。iPhoneやiTunes/ミュージックのAirPlayアイコンをタップ（クリック）し、出力先としてサウンドバーを選択してください。



注意

- AirPlay機器で音量を調節すると、予想外に音量が大きくなり、聴覚障害や機器の損傷の原因になる場合があります。 再生中に音量が大きくなってしまった場合は、すぐに再生を停止してください。

お知らせ

- AirPlay機器で再生を始めるとサウンドバーの電源が自動でオンになります。
- AirPlay機器に表示されるサウンドバーのネットワーク名を変更できます。
- 再生中はAirPlay機器から音量を操作できます。
- このサウンドバーはAirPlay 2に対応しています。
- AirPlayについては、Apple社のホームページをご覧ください。

関連リンク

- 「AirPlayで再生する機器とサウンドバーの音量連動を設定する」(87ページ)
- 「詳細機能の設定をする（ファンクション設定）」(104ページ)
- 「ネットワークの設定をする」(107ページ)

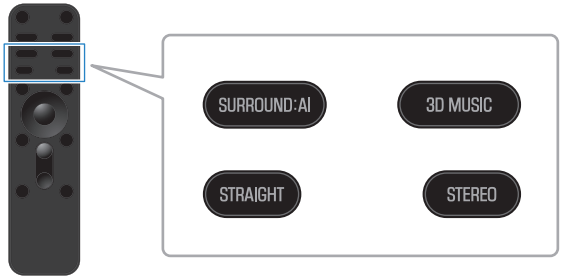
お好みの音に調整する

お好みのサウンドを選ぶ（サウンドモード）

サウンドバーはサラウンド再生用のサウンドモードとステレオ再生用のサウンドモードを搭載しています。また、各種のサウンド設定で、さらにお好みのサウンドにできます。

お知らせ

初期設定は「SURROUND:AI」です。



■ SURROUND:AI（74ページ）

SURROUND:AIにより、コンテンツの場面に応じて最適なサラウンド効果を創り出します。

■ 3D MUSIC（75ページ）

AURO-3D、Dolby Surround、Neural:Xの中からお好みのアップミキサーを選んでサラウンド再生します。

■ STRAIGHT（76ページ）

音場効果をかけずに再生できます。

■ STEREO（77ページ）

音場効果をかけずにステレオ再生します。

場面に適したサラウンド効果で再生する（SURROUND:AI）

SURROUND:AIにより、コンテンツの場面に応じて最適なサラウンド効果を創り出します。「セリフ」「BGM」「環境音」「効果音」などの音の要素から、シーンを瞬時に分析してリアルタイムに最適化するため、圧倒的な臨場感をお楽しみいただけます。

SURROUND:AIキーを押すと、サウンドモードに「SURROUND:AI」が選択されます。

お知らせ

初期設定は「SURROUND:AI」が選択されています。

お好みのアップミキサーを選んでサラウンド再生する（3D MUSIC）

お好みのアップミキサーを選択してサラウンド再生します。

3D MUSICキーを押すと、サウンドモードに「3D MUSIC」が選択されます。

アップミキサーを選択するには、⚙（設定）キーを押して「音声設定」＞「3D MUSIC Upmixer」を表示します。3D MUSIC Upmixer画面を表示すると、3D MUSIC以外のサウンドモードを選択していても、自動で3D MUSICに切り替わります。アップミキサーの効果により、入力信号がステレオ音声の場合でも、高さ方向を含むマルチチャンネル音声に拡張し、3Dサラウンドとして視聴できます。「3D MUSIC Upmixer」＞「Upmixer」で選択できるアップミキサーは次のとおりです。

- AURO-3D
  AURO-3Dを使用します。
  設置されているスピーカー配置に最適な拡張を行います。AURO-3D対応コンテンツをAURO-3Dでデコードして視聴したい場合は、必ずこの設定にしてください。
- DSurr
  Dolby Surroundを使用します。
  設置されているスピーカー配置に最適な拡張を行います。頭上を含めてあらゆる方向からリアルな音を体感できます。
- Neural:X
  DTS Neural:Xを使用します。
  設置されているスピーカー配置に最適な拡張を行います。頭上を含めてあらゆる方向からリアルな音を体感できます。

お知らせ

- 3D MUSIC Upmixer画面を表示すると、3D MUSIC以外のサウンドモードを選択していても、自動で3D MUSICに切り替わります。
- 初期設定は「AURO-3D」です。
- どのアップミキサーを選択しても、同時にバーチャル処理が適用されます。
- 3D MUSICは、音楽鑑賞だけでなく、映画の視聴などさまざまなコンテンツ再生に利用できます。お好みに合わせてご利用ください。

関連リンク

「音声の設定をする」(97ページ)

オリジナルの音声を再生する（STRAIGHT）

サラウンド効果をかけずに再生できます。2チャンネルソースはサウンドバーのフロントスピーカーからステレオ音声で再生し、マルチチャンネルソースはマルチチャンネル音声で再生します。

STRAIGHTキーを押すと、サウンドモードに「STRAIGHT」が選択されます。

お知らせ

再生するコンテンツにハイトチャンネルの音声が含まれていない場合は、ハイトスピーカーからは音が出ません。

ステレオで再生する（STEREO）

サラウンド効果をかけずにサウンドバーのフロントスピーカーからステレオ音声で再生します。

STEREOキーを押すと、サウンドモードに「STEREO」が選択されます。

特定の音域を強調する（サウンド設定）

豊かな低音を楽しむ（バスエクステンション）

バスエクステンションをオンにすると、低音部の音像が増強されます。サブウーファーの音量はそのままで、低音部の音像全体が明確になるように調整されます。そのため、全体のサウンドのバランスを崩すことなく、低音部の音像の存在感を際立たせることができます。サブウーファーの音量を抑えつつ低音を増強したいときや、低音楽器の響きを強調したいときにおすすめします。

BASS EXTキーを押すたびにオン/オフが切り替わります。

人の声を明瞭に再生する（クリアボイス）

クリアボイスをオンにすると、音量を上げなくても再生音の中の人の声が聞き取りやすくなります。小音量で映画やドラマを楽しむときや、BGMや効果音が多く使われた映画やドラマなどにおすすめします。

CLEAR VOICEキーを押すたびにオン/オフが切り替わります。

お知らせ

クリアボイスは、再生音の中からセリフやナレーションなど、人の声の音像にフォーカスして強調する機能です。全体の音量や周波数特性を変えることなく人の声だけを強調し、人の声の定位感も明瞭にします。

設定

メニューについて

メニューの種類

このサウンドバーは次のメニューを備えています。

■ オプションメニュー

サウンドバーの再生関連の設定や、音声・映像信号の情報の確認を行います。このメニューはテレビ画面を見ながら操作します。

■ 設定メニュー

詳細機能を設定します。このメニューはテレビ画面を見ながら操作します。

■ フロントディスプレイメニュー

システム設定などをします。このメニューはフロントディスプレイを見ながら操作します。

お知らせ

- 上記のメニューは同時に使用できません。例えば、設定メニューとフロントディスプレイメニューを同時に使用できません。
- メニューの設定は、あとに選択したメニューが優先されます。

関連リンク

- 「オプションメニューの基本操作」(80ページ)
- 「設定メニューの基本操作」(88ページ)
- 「フロントディスプレイメニューの基本操作」(114ページ)

再生の設定・信号情報の確認をする（オプションメニュー）

オプションメニューの基本操作

オプションメニューの基本的な操作方法を説明します。
このメニューはテレビ画面を見ながらリモコンで操作します。

1 **≡（オプション）キーを押す。**
オプションメニュー画面が表示されます。



2 **設定項目を選ぶ。**

3 **設定を変更する。**

4 **≡（オプション）キーを押す。**

これで設定は完了です。

関連リンク
「オプションメニューの一覧」(81ページ)

オプションメニューの一覧

オプションメニューの一覧です。メニュー項目の詳細については、ページ欄のリンクをご覧ください。

項目		ページ
アダプティブボリューム	**アダプティブボリューム**	82
音声信号情報	**信号方式**	83
	チャンネル入力	
	チャンネル出力	
	サンプリング	
	ダイアローグ	
ビデオ信号情報	**映像入力**	85
	映像出力	
	カラーフォーマット	
	HDR	
自動再生	**自動再生**	86
音量連動	**音量連動**	87

お知らせ

適用可能な項目は入力によって異なります。

低音域/高音域のバランスを自動調節する（アダプティブボリューム）

音量に連動して低音域/ 高音域のバランスを自動的に調節するか設定します。

「オン」に すると、小音量でも自然な音質バランスを楽しめます。夜間など少音量で聴く場合に便利な機能です。

オプションメニュー

「アダプティブボリューム」＞「アダプティブボリューム」

設定値

オフ	アダプティブボリュームを無効にする。
オン	アダプティブボリュームを有効にする。

音声信号情報を確認する

音声信号に関する情報を確認できます。
再生中のソースの音声フォーマットや入出力信号のチャンネル数などを確認できます。

■ 音声信号方式を確認する

オプションメニュー
「音声信号情報」＞「信号方式」

表示情報
入力音声信号の音声フォーマットを表示します。

■ 入力中の音声信号のチャンネル数を確認する

オプションメニュー
「音声信号情報」＞「チャンネル入力」

表示情報
入力音声信号のチャンネル数を「フロント/サラウンド/サブウーファー」の順で表示します。
例えば、「3/2/0.1」と表示されている場合は、「フロント3ch/サラウンド2ch/LFE 0.1ch」という意味です。

■ 出力中の音声信号のチャンネル数を確認する

オプションメニュー
「音声信号情報」＞「チャンネル出力」

表示情報
出力音声信号のチャンネル数「フロントとサラウンド.サブウーファー.ハイト」の順で表示します。
例えば、「5.1.2」と表示されている場合、フロントとサラウンド、サブウーファーの5.1チャンネルとハイト（上方）スピーカー用チャンネルが2チャンネル分という意味です。

■ サンプリング周波数を確認する

オプションメニュー
「音声信号情報」＞「サンプリング」

表示情報
入力音声信号のサンプリング周波数を表示します。

■ セリフの音量を確認する

オプションメニュー
「音声信号情報」＞「ダイアローグ」

表示情報
入力音声信号におけるセリフ音量レベルを表示します。値が大きいほどセリフが強調されています。

映像信号情報を確認する

映像信号に関する情報を確認できます。
入力中の映像信号の種類やフレームレート数などを確認できます。

■ 入力中の映像信号の種類を確認する

オプションメニュー
「ビデオ信号情報」＞「映像入力」

表示情報
入力映像信号の種類・解像度・フレームレート数を表示します。

■ 出力中の映像信号の種類を確認する

オプションメニュー
「ビデオ信号情報」＞「映像出力」

表示情報
出力映像信号の種類・解像度・フレームレート数を表示します。

■ 映像信号方式を確認する

オプションメニュー
「ビデオ信号情報」＞「カラーフォーマット」

表示情報
入力映像信号のカラーフォーマットを表示します。

■ ハイダイナミックレンジの方式を確認する

オプションメニュー
「ビデオ信号情報」＞「HDR」

表示情報
入力映像信号のハイダイナミックレンジの方式を表示します。

自動再生を設定する

ネットワーク入力を選択したときに、ストリーミングサービスなどのコンテンツに対して、自動で再生するかを設定します。

オプションメニュー

「自動再生」＞「自動再生」

設定値

オフ	自動再生を無効にする。
オン	常に最後に再生していたコンテンツの自動再生を有効にする。
自動	電源をオフ（スタンバイ）にしたときにコンテンツを再生中だった場合のみ、最後に再生していたコンテンツの自動再生を有効にする。

お知らせ

- 入力ソースが「Bluetooth」の場合は「自動」を選択できません。
- 入力ソースやコンテンツによっては、自動再生しない場合があります。

AirPlayで再生する機器とサウンドバーの音量連動を設定する

入力でAirPlayを選択しているときに、サウンドバーとAirPlay機器の音量を連動させるか設定します。「オフ」以外 に設定すると、AirPlay機器でサウンドバーの音量を調節できます。

オプションメニュー

「音量連動」＞「音量連動」

設定値

オフ	AirPlay機器からの音量操作を無効にする。
制限あり	消音および0 ～ 60の範囲で音量操作を有効にする。
制限なし	消音および 0 ～ 100 の範囲で音量操作を有効にする。

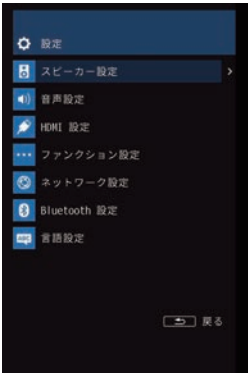
機能設定をする（設定メニュー）

設定メニューの基本操作

設定メニューの基本的な操作方法を説明します。
このメニューはテレビ画面を見ながらリモコンで操作します。

1 ⚙（設定）キーを押す。

2 メニューを選ぶ。



3 設定項目を選ぶ。

4 設定を変更する。

5 ⚙（設定）キーを押す。

これで設定は完了です。

お知らせ

- 新しいファームウェアが利用可能な場合は、メッセージが最初に表示されます。
- ネットワーク上に新しいファームウェアがある場合は、設定メニューに アイコンが画面左下に表示されます。

関連リンク

「設定メニュー一覧」(89ページ)

設定メニュー一覧

設定メニューの一覧です。メニュー項目の詳細については、ページ欄のリンクをご覧ください。

■ スピーカー設定

項目			ページ
ビーム	角度	ハイト左	92
		ハイト右	
	焦点距離	ハイト左	
		ハイト右	
	天井高		
音量	テストトーン		92
	フロント左		
	フロント右		
	センター		
	ハイト左		
	ハイト右		
	サブウーファー		
登録			92

■ 音声設定

項目			ページ
トーンコントロール	高音		97
	低音		
3D MUSIC Upmixer	Upmixer		97
	AURO-3D	Auro-Matic Preset	
		Auro-Matic Strength	
自動リップシンク			97
DTS ダイアローグコントロール			97
音量	ダイナミックレンジ		97
	音量の上限		
	音量の初期値		

■ HDMI 設定

項目		ページ
HDMI コントロール		101
音声出力		101
パススルー		101
HDCP バージョン		101
ARC		101

■ ファンクション設定

項目		ページ
表示設定	ディマー	104
	ショートメッセージ	
パワーマネジメント設定	自動スタンバイ	104
設定の初期化		104
ファームウェアアップデート		104

■ ネットワーク設定

項目	ページ
ネットワーク情報	107
ネットワーク接続	107
IP アドレス	107
DMC からの操作	107
ネットワークスタンバイ	107
ネットワーク名	107
MusicCast Link 電源連動	107

■ Bluetooth 設定

項目		ページ
Bluetooth		111
音声受信	デバイス切断	111
音声送信	音声送信機能	111
	デバイス検索	

■ 言語設定

項目	ページ
言語設定	113

スピーカーの設定をする

スピーカーの設定をします。

お知らせ

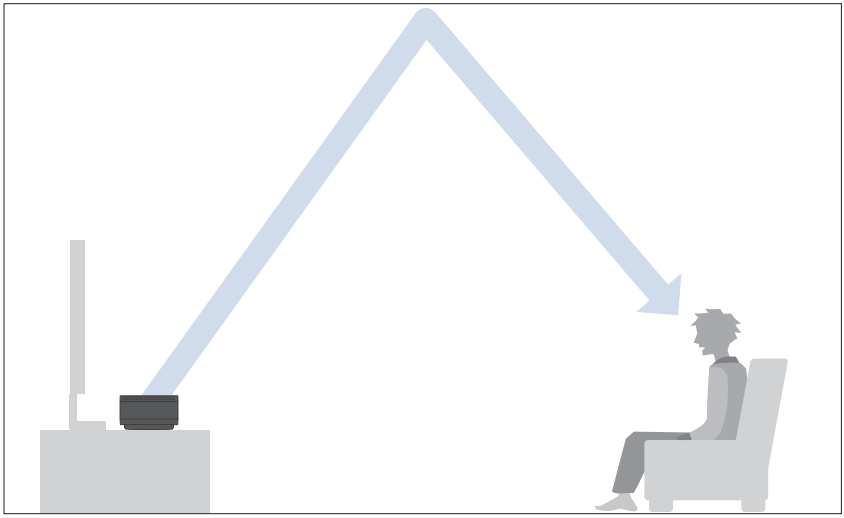
設定は以下の手順で行うことをおすすめします。
❶部屋の天井の高さを設定：「ビーム」＞「天井高」
❷それぞれのチャンネルの音量を調整：「スピーカー設定」＞「音量」＞音量調節するチャンネルを選択
❸（上記でサラウンド効果が不十分なら）ビームの角度・焦点距離を調整：「スピーカー設定」＞「ビーム」＞「角度」/「焦点距離」
それぞれの設定について詳しくは、以下をご覧ください。

■ ビーム

視聴環境により初期設定では十分なサラウンド効果が得られない可能性があります。その場合、ビームの角度・焦点距離・天井高を調節して、サラウンド効果を改善できます。

ビーム（サウンドビーム）について

- このサウンドバーのハイトチャンネル再生にはサウンドビーム技術を使用しています。 サウンドビーム技術とは、サウンドバー左右端に天井方向に向けて配置しているアレイスピーカー（複数の小型スピーカーユニットを並べた構成のスピーカー）から出力される各音声を、DSP（デジタル・シグナル・プロセッサー）により個別に制御して特定方向にビーム状の高い指向特性を生成する技術です。
  サウンドビームをハイトチャンネルに適用して天井面で反射させることにより、あたかも天井に設置されている埋め込みスピーカーから音声が再生されているような効果を創り出すことができます。



角度

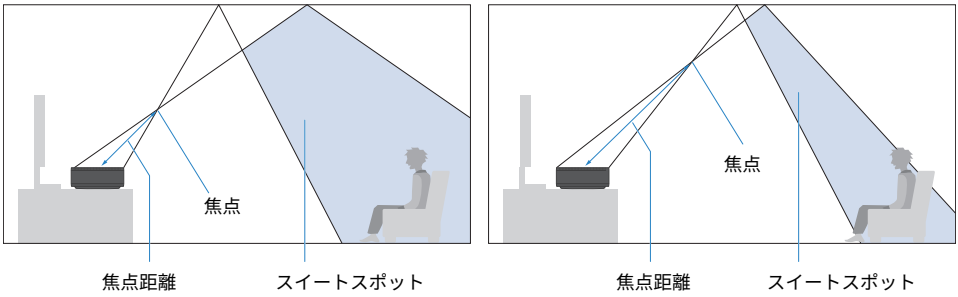
ハイトビームの出力角度（垂直方向）を左右それぞれで調整します。

- 設定メニュー
  「スピーカー設定」＞「ビーム」＞「角度」＞「ハイト左」/「ハイト右」
- 設定値
  30°から90°まで
  ・90°が真上方向です。
- 初期値
  72°

焦点距離

ハイトビームの広がり（スイートスポット）を左右それぞれで調整します。

焦点距離については、以下のイラストをご覧ください。



- 設定メニュー
  「スピーカー設定」＞「ビーム」＞「焦点距離」＞「ハイト左」/「ハイト右」
- 設定値
  1.0 mから 3.0 mまで
- 初期値
  1.8 m

天井高

ご使用になる部屋の天井の高さに合わせて調整します。

- 設定メニュー
  「スピーカー設定」＞「ビーム」＞「天井高」
- 設定値
  1.0 mから 4.0 mまで
- 初期値
  2.5 m

お知らせ

- 「角度」「焦点距離」を選択すると、自動でテストトーンが流れます。
- 「焦点距離」「天井高」では、「単位」から「メートル」、「フィート」を切り替えられます。
  「単位」の設定を切り替えた場合は、「焦点距離」設定が初期値に戻るため、設定をやり直してください。
- ビームを使用できるサウンドモードは以下のいずれかです。
  - SURROUND:AI
  - 3D MUSIC（「3D MUSIC Upmixer」＞「Upmixer」がAURO-3D/DSurr（Dolby Surround）/ Neural:X）
  - STRAIGHT
- AURO-3DまたはDolby Surroundを使用しているときは、「天井高」を調整できません。

■ 音量

チャンネルごとの音量を調整します。

テストトーン

- 設定メニュー
  「スピーカー設定」＞「音量」＞「テストトーン」
- 設定値

オフ	テストトーンを流さない。
オン	テストトーンを流す。

お知らせ

- 「テストトーン」を「オン」にしてから⮌（リターン）キーを押し、「音量」画面に戻ったあとに音量調整するチャンネルを選択すると、選択したチャンネルからテストトーンを流しながら音量の調整ができます。
- 「テストトーン」を「オン」にしたまま設定メニューを閉じた場合は、テストトーンが止まります。

チャンネル選択

- 設定メニュー
  「スピーカー設定」＞「音量」＞音量調節するチャンネルを選択
- 設定値
  -20 から+20まで

お知らせ

テストトーンを流してカーソルを当てると、それぞれのチャンネルからテストトーンを聴くことはできます。フロントおよびセンターの音と、サブウーファーの音を比較することで音量の調節をしてください。

■ 登録

サブウーファーの「手動」登録をします。

サブウーファーは通常、自動でサウンドバーに登録されます。自動で登録されないときに手動で接続操作をしてください。

設定メニュー

「スピーカー設定」＞「登録」

設定値

登録	登録を開始する。

お知らせ

- サブウーファーがサウンドバーに登録されている場合は、「登録済」と表示されます。
- サブウーファーのファームウェア更新が3回失敗すると、スピーカー名の横に「ERROR XXXXXX」（XXXXXX はエラー番号）と表示されます。
  このエラーが出た場合は、購入店または修理ご相談センターに連絡してください。

音声の設定をする

■ トーンコントロール

音声の高音域と低音域の音量を、それぞれ調整します。

設定メニュー

「音声設定」＞「トーンコントロール」＞「高音」/「低音」

設定値

-12から+12まで

初期値

0

■ 3D MUSIC Upmixer

このメニューを選択すると、サウンドモードが「3D MUSIC」に切り替わり、お好みのアップミキサーを選択して、効果を変えることができます。

Upmixer

- 設定メニュー
  「音声設定」＞「3D MUSIC Upmixer」＞「Upmixer」
- 設定値

AURO-3D	AURO-3Dを使用します。 設置されているスピーカー配置に最適な拡張を行います。AURO-3D対応コンテンツをAURO-3Dでデコードして視聴したい場合は、必ずこの設定にしてください。「Upmixer」で「AURO-3D」を選択すると、「AURO-3D」メニューが有効になります。
DSurr（Dolby Surround）	Dolby Surroundを使用します。 スピーカー配置に最適な拡張を行います。頭上を含めてあらゆる方向からリアルな音を体感できます。
Neural:X	DTS Neural:Xを使用します。 スピーカー配置に最適な拡張を行います。頭上を含めてあらゆる方向からリアルな音を体感できます。

- 初期値
  AURO-3D

お知らせ

3D MUSIC Upmixer画面を表示すると、3D MUSIC以外のサウンドモードを選択していても、自動で3D MUSICに切り替わります。

AURO-3D

「3D MUSIC Upmixer」で「AURO-3D」を選択しているときのAURO-3Dの設定をします。

- 設定メニュー
  「音声設定」＞「3D MUSIC Upmixer」＞「AURO-3D」＞「Auro-Matic Preset」/「Auro-Matic Strength」
- 設定値

Auro-Matic Preset

コンテンツに合わせて AURO-3D を効果的に再生するために調整されたAuro-Matic Upmixer のプリセットです。再生するコンテンツに合わせて選んでください。

Small	ポップミュージックや室内楽に最適なプリセット。
Medium	ジャズ音楽や一般的な映画、テレビ番組に最適なプリセット。
Large	オーケストラなど大きなスペースで収録されたコンテンツに最適なプリセット。
Movie	大きな爆発音のシーンがあるアクション映画など、映画コンテンツに最適なプリセット。
Speech	ニュース放送などほとんどが対話で空間情報を持たないようなコンテンツに最適なプリセット。

Auro-Matic Strength

もとの入力信号に対して、どの程度アップミックスするか、そのレベルを設定します。

0から15まで	1ずつレベルを設定する。

- 初期値
  - Auro-Matic Preset：Medium
  - Auro-Matic Strength：12

■ 自動リップシンク

映像と音声出力タイミングのずれを自動で補正します。

設定メニュー

「音声設定」＞「自動リップシンク」

設定値

オフ	自動リップシンクによる補正を無効にする。
オン	自動リップシンクによる補正を有効にする。 自動補正に対応しているテレビにHDMI接続している場合のみ有効です。

初期値

オン

■ DTS ダイアローグコントロール

DTS:X コンテンツの再生でセリフが聴こえにくい場合に、セリフの音量を調整します。

設定メニュー

「音声設定」＞「DTS ダイアローグコントロール」

設定値

0から6まで

初期値

0

お知らせ

DTS ダイアローグコントロールに対応したDTS:Xコンテンツを再生している場合のみ設定できます。

■ 音量

設定メニュー

「音声設定」＞「音量」＞「ダイナミックレンジ」/「音量の上限」/「音量の初期値」

設定値

- ダイナミックレンジ
  Dolby DigitalやDTS信号再生時のダイナミックレンジ（最大音量と最小音量の差）の調節方法を設定します。

最大	入力信号を補正せずに再生する。
標準	家庭での使用に適したダイナミックレンジで再生する。
最小/自動	夜間や小音量でも聴きやすいダイナミックレンジで再生する。 Dolby TrueHD再生時は、入力信号の情報に基づいて再生されます。

• 音量の上限
リモコンのVOLUME ＋/－キーなどで調節可能な音量の上限値を設定します。

40から100まで

• 音量の初期値
電源を入れたときの音量を設定します。

オフ	前回電源をスタンバイにしたときの音量を適用する。	
オン	ミュート	消音にする。
	1から100	指定した音量を適用する。 「音量の上限」より低く設定した場合のみ有効です。

初期値

• ダイナミックレンジ：最大
• 音量の上限：100
• 音量の初期値：オフ

HDMIの設定をする

■ HDMI コントロール

HDMI コントロール対応のテレビやAV機器を、サウンドバーと連動させるか設定します。

設定メニュー

「HDMI 設定」＞「HDMI コントロール」＞「HDMI コントロール」

設定値

オフ	HDMI コントロールを無効にする。
オン	HDMI コントロールを有効にする。 「ARC」の設定が適用されます。

初期値

オン

お知らせ

「HDMI コントロール」を「オン」にすると、「オフ」のときよりも電力を消費します。

■ 音声出力

音声をHDMI接続したテレビのスピーカーから出力するか設定します。

設定メニュー

「HDMI 設定」＞「音声出力」

設定値

オフ	テレビから音声を出力しない。
オン	テレビから音声を出力する。

初期値

オフ

お知らせ

設定メニューの「HDMI コントロール」が「オフ」の場合のみ設定できます。

■ パススルー

サウンドバーの電源がオフ（スタンバイ）のときに、HDMI IN端子へ入力された音声/映像を、HDMI OUT端子に接続したテレビに出力するか設定します。

設定メニュー

「HDMI 設定」＞「パススルー」＞「パススルー」

設定値

オフ	テレビに音声/映像を出力しない。
オン	テレビに音声/映像を出力する。「オフ」、「自動」設定時よりも電力を消費します。
自動	接続している機器の状態により、テレビに音声/映像を出力するか自動で設定する。

初期値

自動

お知らせ

- 「パススルー」を「オン」「自動」にすると、「オフ」のときよりも電力を消費します。
- 設定メニューの「HDMI コントロール」が「オン」のときは、「オン」「自動」のみ選択できます。

■ HDCP バージョン

HDMI IN端子のHDCPバージョンを設定します。4K映像を視聴するとき、必要に応じて設定します。

設定メニュー

「HDMI 設定」＞「HDCP バージョン」

設定値

自動	コンテンツに応じてHDCPのバージョンを自動で設定する。
1.4	HDCPをバージョン1.4に固定する。

初期値

自動

■ ARC

設定メニューの「HDMI コントロール」が「オン」のときに、テレビの音声をサウンドバーから出力するか設定します。

設定メニュー

「HDMI 設定」＞「ARC」

設定値

オフ	ARCを無効にする。
オン	ARCを有効にする。

初期値

オン

お知らせ

通常は設定値を「オン」（初期値）から変更する必要はありません。サウンドバーが非対応の音声信号がテレビから入力されてノイズが発生する場合のみ、「オフ」にしてください。この場合、テレビ側のスピーカーをお使いください。

詳細機能の設定をする（ファンクション設定）

■ 表示設定

フロントディスプレイとテレビ画面での表示設定をします。

設定メニュー

「ファンクション設定」＞「表示設定」＞「ディマー」/「ショートメッセージ」

設定値

- ディマー
  電源ランプとフロントディスプレイの明るさを調節します。値が大きいほど明るくなります。

-5（消灯） から 0まで

- ショートメッセージ
  サウンドバーを操作した際に、テレビ画面に表示されるショートメッセージの表示位置を設定します。

オフ	ショートメッセージを表示しない。	
オン	ショートメッセージを表示する。	
表示位置	下	画面下部に表示する。
	上	画面上部に表示する。

初期値

- ディマー：-2
- ショートメッセージ：オン（表示位置：下）

お知らせ

- 「-5」（消灯）に設定しても、フロントディスプレイのショートメッセージとメニューは「-4」の明るさで表示します。
- 「-5」（消灯）に設定していると、サウンドバーの電源がオンの状態であることがわかりにくくなるため、電源の切り忘れにご注意ください。設定メニューの「自動スタンバイ」を「オフ」以外に設定することをおすすめします。
- 設定メニューの「ディマー」の設定と、フロントディスプレイメニューの「ディマー」の設定は連動しています。

■ パワーマネジメント設定

自動スタンバイ

サウンドバーの電源を自動的にオフ（スタンバイ）にするまでの時間を設定します。

- 設定メニュー
  「ファンクション設定」＞「パワーマネジメント設定」＞「自動スタンバイ」
- 設定値

オフ	自動的にスタンバイにしない。 「オフ」に設定すると、「オフ」以外を設定したときよりも電力を消費します。
5分、20分	サウンドバーを指定時間操作しなかったとき、かつ指定時間入力信号を検知しなかったときにスタンバイにする。
2時間、4時間、8時間、12時間	サウンドバーを指定時間操作しなかったときに、スタンバイにする。

- 初期値
  20分

■ 設定の初期化

サウンドバーの各種設定をリセット（初期化）します。

設定メニュー

「ファンクション設定」＞「設定の初期化」

設定値

全設定	すべての設定を初期化する。
ネットワーク設定	ネットワークに関する設定を初期化する。

操作方法

操作方法については「設定を初期化（リセット）したい」(154ページ)をご覧ください。

お知らせ

設定の初期化は、フロントディスプレイメニューの「設定の初期化」からも行えます。

■ ファームウェアアップデート

サウンドバーのファームウェアを更新します。また、現在のファームウェアバージョンやシステム IDを確認できます。

設定メニュー

「ファンクション設定」＞「ファームウェアアップデート」

設定値

ネットワークアップデート	ネットワーク経由で更新する。
USB アップデート	USBメモリーを使って更新する。

操作方法

操作方法については「ファームウェアの更新について」(120ページ)をご覧ください。

お知らせ

- ファームウェア更新の準備が整うまで、「ネットワークアップデート」は選択できません。
- ファームウェア更新時以外はこのメニューを使用しないでください。また使用前には、更新時にウェブサイトなどで提供される情報を必ずご確認ください。
- ファームウェア更新の所要時間は、ネットワークアップデートの場合、約20分です。
- インターネット回線の速度が十分に得られない場合や、無線ネットワークに接続している場合など、ファームウェア更新の通知が来ない場合があります。そのような場合は、USBメモリーを使ってファームウェアを更新してください。
- ファームウェアの更新は、フロントディスプレイメニューの「ファームウェアアップデート」でも行えます。
- サウンドバーのファームウェア更新後に、サブウーファーのファームウェア更新も自動で行われることがあります。

ネットワークの設定をする

■ ネットワーク情報

サウンドバーのネットワーク情報を表示します。

設定メニュー

「ネットワーク設定」＞「ネットワーク情報」

表示情報

ステータス	ネットワーク端子の接続状態
接続方法	ネットワークへの接続方法
SSID	無線接続（Wi-Fi）を使用しているときに、サウンドバーが接続しているアクセスポイント
MusicCast ネットワーク	MusicCastネットワークの登録状態
MAC アドレス（イーサネット）	サウンドバーのMACアドレス
MAC アドレス（Wi-Fi）	サウンドバーのMACアドレス
IP アドレス	サウンドバーのIPアドレス
サブネットマスク	サブネットマスク
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのIPアドレス
DNS サーバー (P)	プライマリーDNSサーバーのIPアドレス
DNS サーバー (S)	セカンダリーDNSサーバーのIPアドレス

■ ネットワーク接続

サウンドバーのネットワークへの接続方法を設定します。

設定メニュー

「ネットワーク設定」＞「ネットワーク接続」

設定値

有線	ネットワークケーブルを使って接続する。
無線 (Wi-Fi)	無線（Wi-Fi）を使って接続する。

初期値

有線

お知らせ

- 有線接続の方法については「LANケーブルを接続する（有線接続）」(45ページ)をご覧ください。
- 無線接続の方法については「ネットワークへの無線接続方法を選ぶ」(166ページ)をご覧ください。

■ IP アドレス（DHCP機能）

サウンドバーのネットワーク情報（IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイなど）を、DHCPサーバーを使用して自動で設定します。

設定メニュー

「ネットワーク設定」＞「IP アドレス」＞「DHCP」

設定値

オフ	DHCPサーバーを使用せず、ネットワーク情報を手動で設定する。 ネットワーク情報を手動で設定する方には、「ネットワーク情報の手動設定方法」をご覧ください。
オン	DHCPサーバーを使用して、ネットワーク情報を自動で設定する。

初期値

オン

ネットワーク情報の手動設定方法

❶「DHCP」で「オフ」を選ぶ。

❷設定したい項目を選ぶ。

❸ネットワーク情報を設定する。

❹ENTER（決定）キーを押す。

❺別の項目を設定するには、手順❷～❹を繰り返す。

❻⚙（設定）キーを押す。

これで設定は完了です。

■ DMC からの操作

デジタルメディアコントローラー（DMC）からサウンドバーを操作するか設定します。有効にすると、サウンドバーと同じネットワーク上にあるDMCからサウンドバーの再生操作ができます。

設定メニュー

「ネットワーク設定」＞「DMC からの操作」

設定値

無効	DMCからの操作を無効にする。
有効	DMCからの操作を有効にする。

初期値

有効

■ ネットワークスタンバイ

ネットワーク機器からサウンドバーの電源を入れるか設定します。

設定メニュー

「ネットワーク設定」＞「ネットワークスタンバイ」

設定値

オフ	ネットワークスタンバイを無効にする。
オン	ネットワークスタンバイを有効にする。 「オフ」よりも電力を消費します。
自動	ネットワークスタンバイを有効にする。 「ネットワーク接続」を「有線」に設定している場合は、ネットワークケーブルを抜くとパワーセーブモードになり、電力の消費を抑えられます。

初期値

自動

お知らせ

- パワーセーブモードになると、ネットワークケーブルを接続してもネットワーク機器からはサウンドバーの電源をオンにできません。手動でサウンドバーの電源をオンにしてください。
- 「ネットワークスタンバイ」が「オフ」に設定されていると、サウンドバーとペアリング済みのBluetooth機器でも、機器からはサウンドバーの電源をオンにできません。手動でサウンドバーの電源をオンにしてください。

■ ネットワーク名

ネットワークに表示されるサウンドバーの名称（ネットワーク名）を設定します。

設定メニュー

「ネットワーク設定」＞「ネットワーク名」

設定方法

❶ENTER（決定）キーを押す。

❷名前を編集する。

❸「確定」を選ぶ。

❹⚙（設定）キーを押す。

これで設定は完了です。

お知らせ

- 入力した内容をすべて 消去にするには「クリア」を選択します。
- 「リセット」を選択すると、サウンドバーの名称（ネットワーク名）の初期値が表示されます。

■ MusicCast Link 電源連動

サウンドバー（親機）の電源を入れたときに、MusicCast対応機器（子機）も連動して電源を入れるか設定します。

設定メニュー

「ネットワーク設定」＞「MusicCast Link 電源連動」

設定値

オフ	サウンドバーとMusicCast対応機器の電源を連動させない。
オン	サウンドバーとMusicCast対応機器の電源を連動させる。

初期値

オフ

Bluetoothの設定をする

■ Bluetooth

Bluetooth機能を使用するか設定します。

設定メニュー

「Bluetooth 設定」＞「Bluetooth」

設定値

オフ	Bluetooth機能を無効にする。
オン	Bluetooth機能を有効にする。

初期値

オン

■ デバイス切断

Bluetooth機器とサウンドバーの接続を切断します。

設定メニュー

「Bluetooth 設定」＞「音声受信」＞「デバイス切断」

設定方法

「デバイス切断」を選んで、ENTER（決定）キーを押すとBluetooth接続が切断されます。

お知らせ

Bluetooth機器が未接続時は、この機能を使用できません。

■ 音声送信

サウンドバーで再生している音声をBluetooth機器（スピーカー／ヘッドホンなど）に送信するか設定します。

設定メニュー

「Bluetooth 設定」＞「音声送信」＞「音声送信機能」

設定値

オフ	Bluetooth音声送信機能を無効にする。
オン	Bluetooth音声送信機能を有効にする。

初期値

オフ

■ デバイス検索

設定メニューの「音声送信機能」で「オン」を選択した場合に、音声送信するBluetooth機器（スピーカー／ヘッドホンなど）を接続します。

サウンドバーの入力を 「Bluetooth」以外にしてから、操作してください。

設定メニュー

「Bluetooth 設定」＞「音声送信」＞「デバイス検索」

設定方法

❶メッセージを確認してENTER（決定）キーを押す。
サウンドバーと接続できるBluetooth機器が表示されます。

❷音声送信するBluetooth機器を選ぶ。

❸ENTER（決定）キーを押す。
接続が完了すると、「完了しました」が表示されます。

❹ENTER（決定）キーを押す。

これで設定は完了です。

お知らせ

- 接続したいBluetooth機器が表示されない場合は、Bluetooth機器をペアリング状態にしてから、再度「デバイス検索」を実行してください。
- 接続を切断するには、Bluetoothスピーカー/ヘッドホン側で切断操作をしてください。

言語設定をする

■ 言語設定

設定メニューなどの表示言語を設定します。

設定メニュー

「言語設定」

設定値

English	英語
日本語	日本語
Français	フランス語
Deutsch	ドイツ語
Español	スペイン語
Русский	ロシア語
Italiano	イタリア語
中文	中国語

本体から操作して設定する（フロントディスプレイメニュー）

フロントディスプレイメニューの基本操作

フロントディスプレイメニューの基本的な操作方法を説明します。このメニューはフロントディスプレイを見ながらリモコンで操作します。

1 **リモコンの▭（フロントディスプレイメニュー）キーを押す。**
メニューリスト画面が表示されます。



2 **設定項目を選ぶ。**

3 **設定を変更する。**

4 **▭（フロントディスプレイメニュー）キーを押す。**

これで設定は完了です。

お知らせ

フロントディスプレイメニューで操作をキャンセル、または一つ前の表示に戻るには、リモコンの⮌（リターン）キーを押します。

関連リンク

「フロントディスプレイメニュー一覧」(115ページ)

フロントディスプレイメニュー一覧

フロントディスプレイメニューの一覧です。メニュー項目の詳細については、ページ欄のリンクをご覧ください。

項目		ページ
ディマー		116
チャイルドロック		117
設定の初期化	**全設定の初期化**	118
	ネットワーク設定の初期化	
ファームウェアアップデート	**ネットワークアップデート**	119
	USBアップデート	

フロントディスプレイと電源ランプの明るさを設定する（ディマー）

フロントディスプレイと電源ランプの明るさを調節します。値が大きいほど明るくなります。

フロントディスプレイメニュー

「ディマー」

設定値

-5（消灯）から0まで

初期値

-2

お知らせ

- 「-5」は消灯になります。
- 「-5」（消灯）に設定しても、フロントディスプレイのショートメッセージとメニューは「-4」の明るさで表示します。
- 「-5」（消灯）に設定していると、サウンドバーの電源がオンの状態であることがわかりにくくなるため、 電源の切り忘れにご注意ください。設定メニューの「自動スタンバイ」を「オフ」以外に設定する ことをおすすめします。
- 設定メニューの「ディマー」の設定と、フロントディスプレイメニューの「ディマー」の設定は、連動しています。

チャイルドロック機能の有効/無効を切り替える

チャイルドロック機能をオンにすると、サウンドバーの本体キーが使えなくなるため、誤操作を防止できます。

フロントディスプレイメニュー

「チャイルドロック」

設定値

オフ	チャイルドロック機能を無効にする。
オン	チャイルドロック機能を有効にする。

初期値

オフ

お知らせ

電源ボタンはロックされません。

設定を初期化する

サウンドバーの各種設定をリセット（初期化）します。

フロントディスプレイメニュー

「設定の初期化」

選択項目

全設定の初期化	すべての設定を初期化する。
ネットワーク設定の初期化	ネットワークに関する設定を初期化する。

操作方法

操作方法については「設定を初期化（リセット）したい」(154ページ)をご覧ください。

お知らせ

設定の初期化は、設定メニューの「設定の初期化」でも行えます。

ファームウェアを更新する

サウンドバーのファームウェアを更新します。また、現在のファームウェアバージョンを確認できます。

フロントディスプレイメニュー

「ファームウェアアップデート」

設定値

ネットワークアップデート	ネットワーク経由で更新する。
USBアップデート	USBメモリーを使って更新する。

操作方法

操作方法については「ファームウェアの更新について」(120ページ)をご覧ください。

お知らせ

- ファームウェア更新の準備が整うまで、「ネットワークアップデート」は選択できません。
- ファームウェア更新時以外はこのメニューを使用しないでください。また使用前には、更新時にウェブサイトなどで提供される情報を必ずご確認ください。
- ファームウェア更新の所要時間は、ネットワークアップデートの場合、約20分です。
- インターネット回線の速度が十分に得られない場合や、無線ネットワークに接続している場合など、ファームウェア更新の通知が来ない場合があります。そのような場合は、USBメモリーを使ってファームウェアを更新してください。
- ファームウェアの更新は、設定メニューの「ファームウェアアップデート」でも 行えます。

ファームウェアの更新

ファームウェアの更新について

機能の追加や不具合の改善に応じて、新しいファームウェアが提供されます。ファームウェアに関する詳細は、弊社ウェブサイトをご覧ください。 ファームウェアは、インターネット経由かUSBメモリーを使って更新できます。

■ ファームウェア更新のお知らせ

アプリでのお知らせ

スマートフォンアプリMusicCast Controllerをお使いの場合は、アプリ画面にファームウェア更新のお知らせが表示されます。

フロントディスプレイでのお知らせ

新しいファームウェアに更新する準備が完了すると、フロントディスプレイのファームウェア更新アイコンが点灯します。



ファームウェア更新アイコン

お知らせ

- 更新保留状態でさらに新しいバージョンのファームウェアが取得された場合は、ファームウェア更新表示が一時的に消灯する場合があります。
- インターネット回線の速度が十分に得られない場合や、無線ネットワークに接続している場合など、ファームウェア更新の通知が来ない場合があります。そのような場合は、USBメモリーを使ってファームウェアを更新してください。

関連リンク

- 「ネットワーク経由でファームウェアを更新する」(121ページ)
- 「USBメモリーを使ってファームウェアを更新する」(123ページ)

ファームウェアを更新する

ネットワーク経由でファームウェアを更新する

ご注意

- ファームウェア更新中は、サウンドバーを操作したり電源コードやネットワークケーブルを抜いたりしないでください。万一、中断したときはサウンドバーが使えなくなることがあります。その場合は、持ち込み修理が必要となります。

■ アプリから更新する

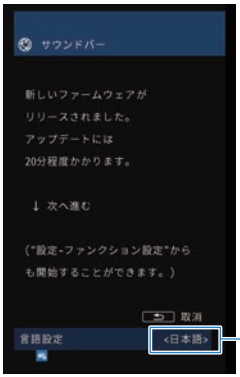
スマートフォンアプリMusicCast Controllerをお使いの場合は、アプリ画面にファームウェア更新のお知らせが表示されます。

アプリ画面の指示にしたがって、ファームウェアを更新してください。

■ 設定メニューから更新する

サウンドバーがインターネットに接続されている場合は、新しいファームウェアの更新準備が整うと、フロントディスプレイに（ファームウェア更新）アイコンが点灯します。

上記の状態で（設定）キーを押すと、次のメッセージが表示されます。



カーソルキーの左右で言語を切り替えられます。

この画面から、下記の手順でファームウェアの更新を実施してください。

1 **画面の説明を読み、カーソルの下キーを押す。**
次の画面に進みます。

2 **画面の内容を確認し、ENTER（決定）キーを押す。**
テレビの画面表示がオフになり、ファームウェアの更新がスタートします。

3 フロントディスプレイに「UPDATE SUCCESS PLEASE POWER OFF!」と表示されたら、サウンドバーの電源ボタンを押す。

これでファームウェアの更新は完了です。

お知らせ

- ファームウェア更新の所要時間は約20分です。
- インターネット回線の速度が十分に得られない場合や、無線ネットワークに接続している場合など、ファームウェア更新の通知が来ない場合があります。そのような場合は、USBメモリーを使ってファームウェアを更新してください。
- サウンドバーのファームウェア更新後に、サブウーファーのファームウェア更新も自動で行われることがあります。

■ 電源を切るときにファームウェアを更新する

すぐにファームウェアを更新できないときなどに、ファームウェア更新を予約して、次回サウンドバーの電源を切る際に更新を実行できます。

操作方法は次のとおりです。

1 「ネットワーク経由でファームウェアを更新する」の手順2でENTER（決定）キーを押すかわりにカーソルの下キーを押す。

2 切り替わった画面で、ENTER（決定）キーを押す。

ファームウェア更新が予約されます。

ファームウェア更新を予約すると、電源を切るときにフロントディスプレイに更新実施確認のメッセージが表示されます。

ENTER（決定）キーを押して更新を開始します。更新が完了すると、自動的に電源が切れます。

お知らせ

- 更新実施確認画面が表示されてから2分間経過すると、更新せずに電源が切れます。
- ⮌（リターン）キーを押すと更新はキャンセルされ、すぐに電源が切れます。
- MusicCast Controllerでサウンドバーの電源を切ると、ファームウェアを更新せずに電源が切れます。
- サウンドバーのファームウェア更新後に、サブウーファーのファームウェア更新も自動で行われることがあります。

USBメモリーを使ってファームウェアを更新する

サウンドバーがインターネット接続されていない場合や、インターネット回線の速度が十分に得られないときに、USBメモリーを使ってファームウェアを更新してください。

ファームウェアのダウンロードについては、弊社ウェブサイトをご覧ください。

1 ヤマハのウェブサイトからサウンドバーの最新ファームウェアをパソコンにダウンロードする。

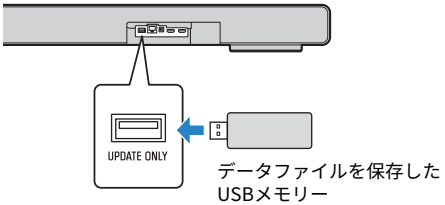
詳しくは、ヤマハのウェブサイトの製品の情報ページをご覧ください。

2 ダウンロードした圧縮ファイルを展開し、ファームウェアのデータファイルをUSBメモリーに保存する。

ファームウェアのデータファイルのみ、USBメモリーの一番上のフォルダー（ルートフォルダー）に保存してください。

データファイルファイルは名前を変更しないでください。

3 サウンドバー背面のUPDATE ONLY端子にUSBメモリーを接続する。



4 リモコンの⚙（設定）キーを押す。

5 テレビ画面に表示される設定メニューから「ファンクション設定」＞「ファームウェアアップデート」＞「USB アップデート」を選ぶ。

ファームウェアの更新が開始されます。更新中は絶対に電源を切らないでください。

6 フロントディスプレイに「UPDATE SUCCESS PLEASE POWER OFF!」と表示されたら、サウンドバーの電源をオフにする。

7 サウンドバーの電源がオフになったことを確認して、USBメモリーを取り外す。

これでファームウェアの更新は完了です。

ご注意

- ファームウェア更新中は、サウンドバーを操作したり電源コードやネットワークケーブルを抜いたりしないでください。万一、中断したときはサウンドバーが使えなくなることがあります。その場合は、持ち込み修理が必要となります。

お知らせ

フロントディスプレイのメニューの、「ファームウェアアップデート」>「USBアップデート」からも更新できます。

フロントディスプレイのエラーメッセージ

ファームウェアを更新しているときに、フロントディスプレイには下記のようなエラーメッセージが表示される場合があります。対処方法をお試しください。

メッセージ	対処方法
NOT FOUND	USBメモリー 内にアップデートファイルありません。 USBメモリーにアップデートファイルがあるか確認してください。
DEVICE ERROR	USBメモリーへのアクセスに失敗しました。USBメモリーが端子にしっかり挿さっていない、またはUSBメモリーが壊れている可能性があります。USBメモリーを確認してください。
INVALID FILE	USBメモリーに保存したアップデートファイルが壊れている可能性があります。最新のアップデートファイルを保存しなおしてください。
Version Error	ファームウェアの更新に失敗しました。更新をやり直してください。
ERROR! XXXXXX（XXXXXX はアップデートエラー番号）	サウンドバーのファームウェアの更新エラーです。更新をやり直してください。
Update failed XXXXXX（XXXXXX はアップデートエラー番号）	サブウーファーのファームウェアの更新エラーです。サブウーファーの電源プラグをコンセントから抜き、電源ランプが消えてから電源プラグをコンセントに接続し、更新をやり直してください。

お知らせ

サブウーファーのファームウェア更新が３回エラーになると、次回の更新は行われなくなります。この場合、設定メニューの「スピーカー設定」 ＞ 「登録」 画面に エラーメッセージ「ERROR XXXXXX」が表示されます。 このエラーメッセージが表示されている場合は、修理ご相談センターにお問い合わせください。

よくあるご質問

最初にご確認ください

ご使用中にサウンドバーが正常に動作しなくなった場合は、最初に次の項目をご確認ください。

- サウンドバー、テレビ、AV機器（ブルーレイディスクプレーヤーなど）の電源プラグがコンセントにしっかりと接続されている。
- サウンドバー、サブウーファー、テレビ、AV機器（ブルーレイディスクプレーヤーなど）の電源が入っている。
- 各機器間のケーブルが端子にしっかりと接続されている。

電源と動作全般について

電源が突然オフになる

● 自動スタンバイ機能により電源がオフになった。

自動スタンバイ機能がオンに設定されている場合は、設定した条件により、自動的に電源がオフになります。

もう一度電源をオンにしてください。自動スタンバイ機能はオフにすることもできます。

・「詳細機能の設定をする（ファンクション設定）」(104ページ)

● 保護回路が作動した（サウンドバー前面の電源ランプが赤で点滅します）。

電源プラグの接続が正しいことを確認したあとで、もう一度電源をオンにしてください。たびたび電源がオフになる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、修理ご相談センターにお問い合わせください。

電源がオンにならない

● **保護回路が3回続けて作動した（サウンドバーの電源ランプが赤で点滅します）。**

製品保護のため、電源がオンにならなくなります。電源プラグをコンセントから抜き、修理ご相談センターにお問い合わせください。

サウンドバーの操作部が操作できない

● チャイルドロック機能がオン（操作部の使用不可）になっている。

チャイルドロック機能をオフ（操作部の使用可能）にしてください。

・「チャイルドロック機能の有効/無効を切り替える」(117ページ)

電源がオンのときにフロントディスプレイが消灯している（電源オフのように見える）

● **フロントディスプレイの明るさが「消灯」になっている。**

ディマーの設定を「-4」以上に設定してください。

・「フロントディスプレイと電源ランプの明るさを設定する（ディマー）」(116ページ)

サウンドバーが正常に動作しない

- **外部電気ショック（落雷、過度の静電気など）や、電源電圧の低下により、内部マイコンがフリーズしている。**

  サウンドバー本体の電源ボタンを10秒以上押してサウンドバーの電源を強制的にオフにします。そのあと、サブウーファーの電源プラグをコンセントから抜いてください。サブウーファーは、電源ランプが消えたことを確認してから電源プラグをコンセントに接続し、サウンドバーの電源をオンにしてください。

操作をしていないのにサウンドバーの電源がオンになる

- **近くで、別のBluetooth機器が使用されている。**
  Bluetooth接続を切断してください。
- **近くで別の機器がAirPlayやSpotifyなどの再生をしている。**
  再生機器からサウンドバーへの接続を切断してください。
- **MusicCast Controllerで再生機器にサウンドバーが選択されている。**
  再生機器をサウンドバー以外の目的の機器に設定してください。

リモコンでサウンドバーを操作できない

● 操作範囲から外れている。

リモコンの操作範囲内で操作してください。

● リモコンの電池が消耗している。

新しい電池に交換してください。

● サウンドバーのリモコン受光部に日光や強い照明が当たっている。

照明、またはサウンドバーの向きを変えてください。

テレビのリモコンでサウンドバーを操作できない

● HDMI コントロール機能が正しく設定されていない。

次のように設定されているか、確認してください。

・サウンドバーのHDMI コントロール機能がオンになっている
「HDMIの設定をする」(101ページ)

・テレビのHDMI コントロール機能がオンになっている

・テレビのHDMIに関する設定で、音声出力先がテレビの内蔵スピーカー以外に設定されている

それでもテレビのリモコンで操作できない場合は、次を実行してください。

・サウンドバーおよびテレビの電源を一度オフにしてからオンにする

・サウンドバーおよびHDMI接続している機器の電源をオフにしたあと、電源プラグをコンセントからはずし、30秒ほどたってから接続しなおす

● テレビがサウンドバーの操作に対応していない。

HDMI コントロール機能に対応しているテレビでも、一部の機能が操作できないことがあります。詳しくはテレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

● 停電などにより連動しなくなった。

HDMIケーブルと電源ケーブルを抜いて5分ほど放電し、AV機器（接続している場合）、サウンドバー、テレビの順でケーブルを接続しなおしください。

テレビにサウンドバーの入力が認識されない

まずは、テレビとの接続状態を確認してください。

接続状態の確認には、INFOボタンを繰り返し押して、フロントディスプレイにHDMIステータスを表示します。



HDMI IN、HDMI OUT/TV (eARC)端子への入出力信号の有無が表示されます。

IN：HDMI入力

OUT：HDMI出力



入出力信号がない場合はアンダーラインが表示されます。

- **INが表示されず、アンダーラインが表示されている。**

  入力信号を認識していません。AV機器の電源を起動してもINが点灯しない場合は、サウンドバーのHDMI IN端子に接続しているAV機器とサウンドバーを接続しているHDMIケーブルが双方の端子にしっかりと接続されているか、確認してください。

- **OUTが表示されず、アンダーラインが表示されている。**

  信号を出力できていません。テレビとサウンドバーを接続しているHDMIケーブルが双方の端子にしっかりと接続されているか、確認してください。

- **INまたはOUTが何度も点滅している。**

  ・HDMIケーブルがしっかりと接続されていない可能性があります。テレビとサウンドバーを接続しているHDMIケーブルが双方の端子にしっかりと接続されているか、確認してください。

  ・接続がしっかりとされているにも関わらず、INまたはOUT が何度も点滅している場合は、HDMIケーブルにトラブルが発生している可能性があります。HDMIケーブルを交換してください。

- **OUTが点灯しているのに、テレビに映像が表示されない。**

  ・テレビの入力をサウンドバーに切り替えてください。切り替え方法については、テレビの取り扱い説明書などをご覧ください。

  ・テレビの入力をサウンドバーに切り替えても映像が表示されない場合は、HDMIケーブルにトラブルが発生している可能性があります。HDMIケーブルを交換してください。

音声再生について

音が出ない

● 再生したい入力が選ばれていない。

正しい入力を選んでください。

・「再生の基本操作」(60ページ)

● 消音されている。

消音を解除してください。

・「再生の基本操作」(60ページ)

● 音量が小さい。

音量を上げてください。

・「再生の基本操作」(60ページ)

● サウンドバーの電源コードがしっかり接続されていない。

サウンドバーの電源コードが正しくコンセントに接続されていることを確認してください。

● サウンドバーの電源をオンにして間もない。

サウンドバーの電源をオンにして約30秒間は音が出ません。その間、フロントディスプレイには「お待ちください」と表示されます。少し時間を置いてから操作してください。

● 入力端子同士を接続している。

サウンドバーの入力端子とAV機器の出力端子を接続してください。AV機器をテレビに接続する場合は、テレビの入力端子とAV機器の出力端子を接続してください。

・「AV機器をサウンドバーに接続する」(40ページ)

・「AV機器をテレビのHDMI入力端子に接続する」(42ページ)

● サウンドバーが再生できない信号が入力されている。

テレビまたはAV機器側のデジタル音声出力を、サウンドバーが対応している音声信号に設定してください。

・「対応しているデジタル音声信号フォーマット」(164ページ)

● HDMI コントロール機能がオフに設定されている。

オーディオリターンチャンネル（ARC）対応のテレビとサウンドバーをHDMIケーブルのみで接続する場合は、サウンドバーのHDMI コントロール機能をオンに設定してください。

HDMI コントロール機能をオフにしたままサウンドバーで音声を再生するには、eARC対応のテレビとサウンドバーを接続するか、サウンドバーのOPTICAL端子（光デジタル）とテレビの音声出力端子を光デジタルケーブルで接続してください。

・「HDMIの設定をする」(101ページ)

● **HDMI コントロール機能を使用しているテレビの音声出力先が、テレビの内蔵スピーカーになっている。**

テレビのHDMIに関する設定で、音声出力先をテレビの内蔵スピーカー以外に切り替えてください。

● **DVD-AudioまたはSACDを再生している。**

DVD-AudioおよびSACDの再生には対応していません。

サブウーファーから音が出ない

● 再生している音声にサブウーファーチャンネルの信号や低音信号が含まれていない。

サブウーファーチャンネルの信号や低音信号が含まれているコンテンツを再生して、サブウーファーから音が出ることを確認してください。

● サブウーファーの音量が小さい。

サブウーファーの音量を上げてください。

● サブウーファーの電源プラグがコンセントに接続されていない。

サブウーファーの電源プラグをコンセントに接続してください。

● 保護回路が作動した（サブウーファー背面の電源ランプが赤色にはやく点滅します）。

製品保護のため、サブウーファーの電源が入らなくなります。連続で大音量再生をしたり、再生中にコンセントを抜いたり、短時間の停電のあとなどにも保護回路が働く場合があります。一度コンセントを抜き、電源ランプの点滅が消えるまで待ってから再度電源プラグをコンセントに接続してください。それでも電源ランプが赤色に早く点滅する場合は、電源プラグをコンセントから抜き、修理ご相談センターにお問い合わせください。

● 無線の通信状態が悪い（サブウーファー背面のCONNECTランプがゆっくり点滅します）。

無線の通信状態が悪く、サウンドバーと接続できません。次のように対処してください。

・サブウーファーをサウンドバーに近づけてください。

・サウンドバーとサブウーファーの間が金属製の家具などで遮られている場合は家具などの配置を変更するか、サブウーファーの位置を変えてください。

・近くに電子レンジや無線LAN 機器など、電磁波を発するものがある場合は、それらのものから離れたところに設置してください。

● サウンドバーとサブウーファーが接続されていない（サブウーファー背面のCONNECTランプがゆっくり点滅、またはCONNECTランプがゆっくり点滅後赤色に点灯します）。

サウンドバーとサブウーファーを手動で接続してください。

・「サブウーファーを手動で接続する」(172ページ)

電源をオンにし直すと音量が下がる・上がる

● 音量の初期値が設定されている。

設定メニューの「音量の初期値」を「オン」にし、「ミュート」や小さい音量、または大きい音量になっている可能性があります。設定を「オフ」にするか、音量を調節してください。

・「音声の設定をする」(97ページ)

サラウンド感が得られない

● ステレオ再生にしている。

リモコンのSURROUND:AI/3D MUSIC/STRAIGHTキーを押してサラウンド再生に切り替えてください。

● 音量が小さい。

音量を上げてください。

● テレビ、またはAV機器が常に2チャンネル（PCMなど）で出力するように設定されている。

テレビまたはAV機器の設定を、ビットストリーム音声信号が出力されるように変更してください。

● テレビのスピーカーからも音が出ている。

テレビの音量を最小にしてください。

● 視聴位置がサウンドバーに極端に近すぎる。

ある程度、離れた位置で視聴してください。

● サウンドモードが3D MUSICに切り替わっている。

設定メニューの「音声設定」＞「3D MUSIC Upmixer」の画面を表示すると、サウンドモードが自動で3D MUSICに切り替わります。コンテンツに合わせてサウンドモードを切り替えてください。

・「お好みのサウンドを選ぶ（サウンドモード）」(73ページ)

雑音が入る

● **デジタル機器や高周波機器がサウンドバーの近くに置かれている。**
サウンドバーとそれらの機器を離して設置してください。

Bluetooth®接続について

Bluetooth®機器と接続できない

- **Bluetooth機器の音声をサウンドバーから再生するときに、サウンドバーの入力がBluetooth以外になっている。**
  Bluetooth機器の音声をサウンドバーから再生したい場合は、入力を「Bluetooth」にしてください。
- **Bluetooth機器でサウンドバーの音声を再生するときに、サウンドバーの入力がBluetoothになっている。**
  サウンドバーの音声をBluetooth機器で再生する場合は、サウンドバーの入力を「Bluetooth」以外にしてください。
- **サウンドバーとBluetooth機器の距離が離れすぎている。**
  サウンドバーとBluetooth機器を近づけてください。
- **電磁波を発する機器（電子レンジ、無線機器など）がそばにある。**
  電磁波を発生する機器の近くで使用しないでください。
- **お使いのBluetooth機器がA2DPプロファイルに対応していない。**
  A2DPプロファイル対応のBluetooth機器をお使いください。
- **Bluetooth機器に登録されている接続情報が正しく機能していない。**
  Bluetooth機器の接続情報を削除してから、サウンドバーとBluetooth機器を接続してください。
- **Bluetoothアダプターなどの機器でパスキーが「0000」以外になっている。**
  パスキーが「0000」の機器をお使いください。
- **サウンドバーと別のBluetooth機器が接続されている。**
  Bluetooth機器の接続を切断してから、新しいBluetooth機器を接続してください。
- **サウンドバーのBluetooth機能がオフになっている。**
  Bluetooth機能をオンにしてください。

Bluetooth®接続時に音が出ない、または音が途切れる

- **Bluetooth機器の音量が小さすぎる。**
  Bluetooth機器の音量を上げてください。
- **Bluetooth機器を再生していない。**
  Bluetooth機器を再生してください。
- **Bluetooth機器の音声出力先が本製品になっていない。**
  Bluetooth機器を操作し、音声出力先として本製品を選択してください。
- **Bluetooth接続が切断された。**
  再度Bluetooth接続を行ってください。
- **サウンドバーとBluetooth機器の距離が離れすぎている。**
  Bluetooth機器をサウンドバーの近くに移動してください。
- **電磁波を発する機器（電子レンジ、無線機器など）がそばにある。**
  電磁波を発生する機器の近くで使用しないでください。

ネットワークについて

ネットワーク機能を使用できない

● **ネットワーク情報（IP アドレス）が正しく取得されていない。**
ルーターのDHCP サーバー機能を有効にしてください。

● **IPv6 タイプのルーターと接続しようとしている。**
サウンドバーはIPv6 のネットワークには対応していません。IPv4 のネットワークに接続してください。

無線LAN ルーター（アクセスポイント）経由でインタ ーネットに接続できない

- **無線LAN ルーター（アクセスポイント）の電源が切れている。**
  無線LAN ルーター（アクセスポイント）の電源を入れてください。
- **サウンドバーと無線LAN ルーター（アクセスポイント）の距離が離れすぎている。**
  サウンドバーと無線LAN ルーター（アクセスポイント）を近づけてください。
- **サウンドバーと無線LAN ルーター（アクセスポイント）の間に障害物がある。**
  サウンドバーと無線LAN ルーター（アクセスポイント）の間に障害物がない場所に設置してください。
- **無線LAN ルーター（アクセスポイント）が特定のチャンネルを使用する設定になっている。**
  無線LANルーターを自動でチャンネルを選択する設定に変更してください。使用するチャンネルを指定する場合は、1チャンネルまたは11チャンネルを指定してください。

無線ネットワークが見つからない

- **電子レンジや別の無線機器からの電磁波により、無線通信が妨害されている。**

  それらの機器の電源を切るか、サウンドバーや無線LAN ルーター（アクセスポイント）から遠ざけてください。またはサウンドバーを5GHz対応の無線LANルーター（アクセスポイント）に接続してください。

- **無線LAN ルーター（アクセスポイント）のファイアウォール設定により、ネットワークへのアクセスが制限されている。**

  無線LAN ルーター（アクセスポイント）のファイアウォール設定をご確認ください。

AirPlayで音楽を再生できない

● 非対応のオーディオファイルを再生している。

Airplay対応機器本体で再生できるファイルか確認してください。再生できない場合は、ファイルフォーマットが非対応か、ファイルが破損している可能性があります。

AirPlay対応機器側でサウンドバーが検出されない

● **サウンドバーとAirPlay対応機器が別々のSSIDに接続されている。**

サウンドバーとAirPlay対応機器を同じSSIDに接続してください（プライマリーSSIDへの接続をお試しください）。

ストリーミングサービスを再生できない

- **選択したストリーミングサービスが現在停止している。**
  しばらくたってからもう一度再生してください。
- **ルーターなどネットワーク機器のファイアウォール設定により、ネットワークへのアクセスが制限されている。**
  ファイアウォールの設定をご確認ください。ストリーミングサービスは各サービス指定のポート経由でのみ再生できます。ポート番号はストリーミングサービスにより異なります。
- **ストリーミングサービスが提供されていない地域で本製品を使用している。**
  各種ストリーミングサービスは提供される地域が限定されています。本製品を使用する国や地域によっては、ストリーミングサービスをご利用になれない場合があります。

メディアサーバー（NASなど）のオーディオファイルが再生できない

● **サウンドバーは対応していないファイルフォーマットのオーディオファイルを再生しようとしている。**

サウンドバーは対応しているファイルフォーマットのオーディオファイルのみを再生できます。

・「対応しているデジタル音声信号フォーマット」(164ページ)

ファームウェア更新のお知らせが表示されない

● テレビ画面のメニューやフロントディスプレイ、MusicCast Controllerにファームウェア更新のお知らせが表示されない。

ヤマハウェブサイトで本製品のファームウェア更新情報があるにもかかわらず、テレビ画面のメニューやフロントディスプレイ、MusicCast Controllerのお知らせに何も表示されない場合は、USB端子経由でファームウェアを更新してください。

・「USBメモリーを使ってファームウェアを更新する」(123ページ)

アプリ使用について

アプリでサウンドバーを検出できない

● 本製品非対応のアプリを使用している。

本製品はMusicCast Controllerのみ対応しています。Sound Bar Remote 、HomeTheater ControllerおよびSound Bar Controllerは使用できません。

● サウンドバーとスマートフォンが同じネットワークに接続されていない。

ネットワーク接続やルーターの設定を確認し、同じネットワークに接続してください。

● スマートフォンが無線（Wi-Fi）で無線LANルーターに接続されていない。

スマートフォンを無線（Wi-Fi）で無線LANルーターに接続してください。

● マルチSSID 対応ルーターを使用している。

無線LAN ルーターのネットワーク分離機能により、サウンドバーへのアクセスができなくなっている可能性があります。サウンドバーとスマートフォンは同じSSIDのネットワークに接続してください。まず、プライマリーSSIDへの接続をおすすめします。

● サウンドバーの無線（Wi-Fi）機能が無効になっている。

ネットワークに無線（Wi-Fi）で接続している場合は、無線（Wi-Fi）機能を有効に変更してください。

・「ネットワークの設定をする」(107ページ)

● LANケーブルが接続されていない

ネットワークに有線接続している場合は、LANケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。

・「LANケーブルを接続する（有線接続）」(45ページ)

アプリでメディアサーバー（NASなど）を検出できない

- **メディアサーバーの共有設定が有効になっていない。**

  メディアサーバー（NASなど）またはメディアサーバーソフトでのメディア共有設定を有効にする必要があります。詳しくは各機器またはソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

- **セキュリティーソフトなどの設定により、メディアサーバーへのアクセスが制限されている。**

  メディアサーバーまたはルーターのセキュリティーソフトの設定をご確認ください。

サウンドバーとサブウーファーが自動で接続されない

● 一時的な通信障害などが起こった。

通常、サウンドバーとサブウーファーは自動で登録・接続されますが、一時的な通信障害などにより自動で接続されなかった場合は、手動で接続してください。

● サウンドバーを初期化した。

一度サブウーファーの登録をしていても、サウンドバーの初期化すると、サブウーファーは自動で接続されません。手動で接続してください。

関連リンク

「サブウーファーを手動で接続する」(172ページ)

サウンドバーを初期化（リセット）・再起動したい

設定を初期化（リセット）したい

次の説明を参照して、設定を初期化してください。

■ 設定メニュー（テレビ画面）で操作する場合

1. **（設定）キーを押す。**
2. **設定メニューから「ファンクション設定」＞「設定の初期化」＞「全設定」を選ぶ。**
   ネットワーク設定のみ初期化したい場合は、「ネットワーク設定」を選んでください。
3. **画面の指示にしたがい操作する。**
   初期化が終わると自動的にサウンドバーが再起動します。
   「ネットワーク設定」を選んだ場合は、再起動せず完了のメッセージが表示されます。

これで設定の初期化は完了です。

■ フロントディスプレイメニューで操作する場合

1. **（フロントディスプレイメニュー）キーを押す。**
2. **フロントディスプレイメニューから「設定の初期化」＞「全設定の初期化」を選ぶ。**
   初期化が終わると自動的にサウンドバーが再起動します。
   「ネットワーク設定の初期化」を選んだ場合は、再起動せず完了のメッセージが表示されます。

これで設定の初期化は完了です。

サウンドバーの電源を強制的に再起動したい

サウンドバー本体の電源ボタンを10秒以上押してください。サウンドバーが再起動します。

フロントディスプレイに「Internal Error」と表示されている

● サウンドバー内部で不具合が起きている

サウンドバー本体の電源ボタンを10秒以上押してサウンドバーの電源を強制的にオフにします。そのあと、サブウーファーの電源プラグをコンセントから抜いてください。サブウーファーは、電源ランプが消えたことを確認してから電源プラグをコンセントに接続し、サウンドバーの電源をオンにしてください。
それでも解決しない場合は、修理ご相談センターにお問い合わせください。

仕様

主な仕様

本製品の主な仕様は次のとおりです。

■ サウンドバー

アンプ部（実用最大出力）

フロントL/R	100 W × 2
センター	100 W
ハイトL/R	2.5 W × 12

スピーカー部

フロントL/R	
• 形式	密閉型（非防磁）
• スピーカーユニット	11 × 5.3 cmコーン × 2
• 再生周波数帯域	120 Hz ～ 3.2 kHz
• インピーダンス	6 Ω
• 形式	密閉型（防磁）
• スピーカーユニット	2.5 cmドーム× 2
• 再生周波数帯域	3.2 kHz ～ 20 kHz
• インピーダンス	6 Ω

センター	
• 形式	密閉型（非防磁）
• スピーカーユニット	11 × 5.3 cmコーン × 2
• 再生周波数帯域	120 Hz ～ 3.2 kHz
• インピーダンス	12 Ω（各6 Ω）
• 形式	密閉型（防磁）
• スピーカーユニット	2.5 cmドーム× 1
• 再生周波数帯域	3.2 kHz ～ 20 kHz
• インピーダンス	6 Ω
ハイト	
• 形式	密閉型（防磁）
• スピーカーユニット	2.8 cmコーン × 12
• 再生周波数帯域	500 Hz ～ 20 kHz
• インピーダンス	4 Ω

入力端子

光デジタル	1（OPTICAL）
HDMI	1（HDMI IN）

出力端子

HDMI	1（HDMI OUT/TV (eARC)）

その他の端子

USB	1（UPDATE ONLY）
ネットワーク（100BASE-TX/10BASE-T）	1（NETWORK）

Bluetooth

受信動作	Bluetooth機器（スマートフォン、タブレットなど）からの受信機能
送信動作	Bluetooth機器（Bluetoothヘッドホンなど）への送信機能
Bluetoothバージョン	Ver 4.2

対応プロファイル	受信：A2DP、AVRCP 送信：A2DP、AVRCP
対応コーデック	受信：SBC、AAC 送信：SBC
Bluetoothクラス	Bluetooth Class 1
見通し通信距離	約10 m（妨害がないとき）
対応コンテンツ保護	SCMS-T 方式（受信時）

無線ネットワーク

• 無線LAN 規格	IEEE802.11 a/b/g/n/ac* *20 MHzチャンネル帯域幅のみ
• 無線周波数帯域	2.4 GHz/5 GHz
• 最大通信距離	約10 m（妨害がないとき）
• 暗号化方式	WPA、WPA2

ネットワーク音声機能

対応コーデック	WAV（PCMフォーマットのみ）/FLAC/AIFF/Ogg Vorbis：384 kHzまで
	ALAC：96 kHzまで
	MP3/WMA/MPEG-4 AAC/Ogg Opus：48 kHzまで

総合

電源電圧	AC 100 V ～ 120 V、50/60 Hz
消費電力	54 W

待機消費電力	
• HDMI コントロール、パススルー、ネットワークスタンバイ（有線、無線）、Bluetooth：オフ	0.5 W
• HDMI コントロール、パススルー：オン ネットワークスタンバイ（有線、無線）、Bluetooth：オフ	2.0 W
• HDMI コントロール、パススルー、ネットワークスタンバイ（無線）、Bluetooth：オフ ネットワークスタンバイ（有線）：オン	2.0 W
• HDMI コントロール、パススルー、ネットワークスタンバイ（有線）、Bluetooth：オフ ネットワークスタンバイ（無線）：オン	2.0 W
• HDMI コントロール、パススルー、ネットワークスタンバイ（有線、無線）：オフ Bluetooth：オン	2.0 W

寸法（幅 × 高さ × 奥行き）	
• テレビの前などに設置	1180 × 85 × 143 mm
• 壁掛け設置、取付金具を含む	1180 × 76 × 155 mm

質量	11 kg

■ サブウーファー

アンプ部

実用最大出力	100 W

スピーカー部

• 形式	バスレフ型（非防磁）
• ユニット	17 cm コーン ×1
• 再生周波数帯域	33 Hz ～ 120 Hz
• インピーダンス	3 Ω

無線機能（サウンドバーとの通信）

• 無線周波数帯域	2.4 GHz
• 最大通信距離	約10 m（妨害がないとき）

総合

電源電圧	AC 100 V ～ 120 V、50/60 Hz
消費電力	24 W
待機消費電力	2.0 W
寸法（幅×高さ×奥行き）	241 × 378 × 414 mm
質量	12.7 kg

お知らせ

この説明は、発行時点の最新仕様に基づいて記載しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードしてご覧ください。

対応しているHDMI映像フォーマット

本製品が対応しているHDMI映像信号です。
次の映像信号に対応しています。

- Deep Color
- x.v.Color
- 3D映像信号
- High Dynamic Range（HDR）映像信号
- HDR10
- HLG
- Dolby Vision
- HDR10+

次の解像度に対応しています。

- VGA
- 480i / 60 Hz
- 480p / 60 Hz
- 576i / 50 Hz
- 576p / 50 Hz
- 720p / 60 Hz、50 Hz
- 1080i / 60 Hz、50 Hz
- 1080p / 120 Hz、100 Hz、60 Hz、50 Hz、24 Hz
- 4K/ 60 Hz、50 Hz、30 Hz、25 Hz、24 Hz

次の機能に対応しています。

- ALLM (Auto Low Latency Mode)

■ 著作権保護規格

HDCP 2.3、HDCP1.4

お知らせ

- サウンドバーへ接続する方法については、AV機器の取扱説明書もご覧ください。
- コピープロテクトがかかったDVDを再生する場合、お使いのDVDプレーヤーによっては映像信号および音声信号が出力されないことがあります。
- サウンドバーはHDCP非対応の、HDMIやDVI端子を装備したテレビやプロジェクターには対応していません。HDCP対応の有無については、お使いのHDMI機器やDVI機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続したテレビの性能により、伝送する映像信号の解像度などが変わります。
- この説明は、発行時点の最新仕様に基づいて記載しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードしてご覧ください。

対応しているデジタル音声信号フォーマット

本製品が対応しているデジタル音声信号です。

■ HDMI IN端子の音声入力信号

AV機器のHDMI出力端子からサウンドバーのHDMI IN端子に入力した音声信号うち、本製品で再生できる音声信号は次のとおりです。

音声フォーマット	詳細
2チャンネルリニアPCM	2ch、32 / 44.1 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192 kHz、16 / 20 / 24 bit
マルチチャンネルPCM	8ch、32 / 44.1 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192 kHz、16 / 20 / 24 bit
ビットストリーム	Dolby Digital / Dolby Digital Plus / Dolby TrueHD / Dolby Atmos - Dolby Digital Plus / Dolby Atmos - Dolby TrueHD / DTS 96/24 / DTS-ES Discrete 6.1 / DTS-ES Matrix 6.1 / DTS / DTS Express / DTS-HD High Resolution / DTS-HD Master Audio / DTS:X / MPEG-2 AAC / MPEG-4 AAC / AURO-3D

■ HDMI OUT/TV (eARC)端子の音声入力信号

テレビのARC対応HDMI入力端子からサウンドバーのHDMI OUT/TV (eARC)端子に入力したデジタル音声信号のうち、本製品で再生できるデジタル音声信号は次のとおりです。

テレビのeARC対応HDMI入力端子の場合

音声フォーマット	詳細
2チャンネルリニアPCM	2ch、32 / 44.1 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192 kHz、16 / 20 / 24 bit
マルチチャンネルPCM	8ch、32 / 44.1 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192 kHz、16 / 20 / 24 bit
ビットストリーム	Dolby Digital / Dolby Digital Plus / Dolby TrueHD / Dolby Atmos - Dolby Digital Plus / Dolby Atmos - Dolby TrueHD / DTS 96/24 / DTS-ES Discrete 6.1 / DTS-ES Matrix 6.1 / DTS / DTS Express / DTS-HD High Resolution / DTS-HD Master Audio / DTS:X / MPEG-2 AAC / MPEG-4 AAC / AURO-3D

テレビのARC対応HDMI入力端子の場合

音声フォーマット	詳細
2チャンネルリニアPCM	2ch、32 / 44.1 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192 kHz、16 / 20 / 24 bit
ビットストリーム	Dolby Digital / Dolby Digital Plus / Dolby Atmos - Dolby Digital Plus / DTS 96/24 / DTS-ES Discrete 6.1 / DTS-ES Matrix 6.1 / DTS / MPEG-2 AAC

■ OPTICAL端子の音声入力信号

テレビの光デジタル出力端子からサウンドバーのOPTICAL端子に入力したデジタル音声信号のうち、本製品で再生できるデジタル音声信号は次のとおりです。

音声フォーマット	詳細
2チャンネルリニアPCM	2ch、32 / 44.1 / 88.2 / 96 kHz、16 / 20 / 24 bit
ビットストリーム	Dolby Digital / DTS / DTS 96/24 / DTS-ES Discrete 6.1 / DTS-ES Matrix 6.1 / MPEG-2 AAC / MPEG-4 AAC

お知らせ

- この説明は、発行時点の最新仕様に基づいて記載しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードしてご覧ください。
- サウンドバーへ接続する方法については、AV機器の取扱説明書もご覧ください。
- コピープロテクトがかかったDVDを再生する場合、お使いのDVDプレーヤーによっては映像信号および音声信号が出力されないことがあります。
- サウンドバーはHDCP非対応の、HDMIやDVI端子を装備したテレビやプロジェクターには対応していません。HDCP対応の有無については、お使いのHDMI機器やDVI機器の取扱説明書をご覧ください。
- ビットストリーム音声信号をデコードするには、AV機器がビットストリーム信号をそのまま出力するように、AV機器で設定を変更してください。詳しくは、AV機器の取扱説明書をご覧ください。
- DVD-Audio、SACDの再生には対応していません。

付録

ネットワークへ無線接続する

ネットワークへの無線接続方法を選ぶ

サウンドバーをMusicCast ネットワークへ登録すると、 MusicCast Controller で無線（Wi-Fi）の設定も同時に行うことができます。

MusicCast Controllerを使用しない場合は、お使いのネットワーク環境に合わせて、接続方法を選んでください。

1 **リモコンの⚙（設定）キーを押す。**

2 **「ネットワーク設定」を選ぶ。**

3 **「ネットワーク接続」を選ぶ。**

4 **「無線 (Wi-Fi)」を選ぶ。**

関連リンクから無線接続設定の方法を選んでください。

お知らせ

サウンドバーと無線LAN ルーター（アクセスポイント）が離れていると接続できない場合があります。そのような場合はサウンドバーと無線LANルーター（アクセスポイント）を近づけて設置して ください。

関連リンク

- 「MusicCastネットワークに登録する」(58ページ)
- 「WPSボタンを使って無線接続する」(167ページ)
- 「iPhoneを使って無線接続する」(168ページ)
- 「アクセスポイントの一覧から無線接続する」(169ページ)
- 「手動で無線接続する」(170ページ)
- 「PINコード式のWPSで無線接続する」(171ページ)

WPSボタンを使って無線接続する

無線LANルーターのWPSボタンを押して、無線接続を簡単に設定します。

設定メニュー

「ネットワーク設定」＞「ネットワーク接続」＞「無線 (Wi-Fi)」

1 **「WPS ボタン」を選ぶ。**

2 **テレビ画面の表示にしたがって、無線接続する。**
接続が完了すると、「完了しました」と表示されます。
「接続できませんでした」と表示された場合は、手順1からやり直すか、別の接続方法をお試しください。

これで無線接続は完了です。

お知らせ

暗号化方式としてWEPを使用している無線LANルーターには接続できません。この場合は、別の接続方法をお試しください。

■ WPSとは

WPS（Wi-Fi Protected Setup）とは、Wi-Fi Allianceによって策定された規格です。WPSにより、無線ネットワークを簡単に設定できます。

iPhoneを使って無線接続する

お手持ちのiPhoneのネットワーク設定をサウンドバーに適用して、無線接続を設定します。

設定を始める前に、お使いのiPhoneが無線LANルーターに接続されていることを確認してください。

お知らせ

iOS7以降を搭載したiPhoneが必要です。

設定メニュー

「ネットワーク設定」＞「ネットワーク接続」 ＞「無線 (Wi-Fi)」

1 **「WAC(iOS)」を選ぶ。**

2 **テレビ画面の表示にしたがって、無線接続する。**
共有操作が完了すると、サウンドバーは自動的に選択した無線LANルーターに接続します。

これで無線接続は完了です。

お知らせ

- 次の設定内容が初期化されます。
  - ・ネットワーク設定
  - ・Bluetooth 設定
  - ・MusicCast Controller のお気に入りに登録したコンテンツ
  - ・NET RADIOのお気に入りに登録したラジオ局
  - ・各ミュージックサービスのアカウント情報
- 暗号化方式としてWEPを使用している無線LANルーターには接続できません。この場合は、別の接続方法をお試しください。
- ネットワークケーブルがサウンドバーに接続されている場合は、警告メッセージが表示されます。ネットワークケーブルを取り外してから、操作してください。

アクセスポイントの一覧から無線接続する

サウンドバーが検索した無線LANルーターの一覧から接続先を選択して、無線接続を設定します。

セキュリティーキーを手動で設定する必要があります。

設定メニュー

「ネットワーク設定」＞「ネットワーク接続」＞「無線 (Wi-Fi)」

1. **「アクセスポイント検索」を選ぶ。**
2. **テレビ画面の表示にしたがって、無線接続する。**
   接続が完了すると、「完了しました」と表示されます。
   「接続できませんでした」と表示された場合は、手順1からやり直すか、別の接続方法をお試しください。

これで無線接続は完了です。

手動で無線接続する

必要な情報を入力して、無線接続を設定します。SSID（ネットワーク名）や暗号化方式、セキュリティーキーを手動で設定する必要があります。

設定メニュー

「ネットワーク設定」＞「ネットワーク接続」＞「無線 (Wi-Fi)」

1. **「マニュアル設定」を選ぶ。**
2. **テレビ画面の表示にしたがって、無線接続する。**
   接続が完了すると、「完了しました」と表示されます。
   「接続できませんでした」と表示された場合は、やり直すか、別の接続方法をお試しください。

これで無線接続は完了です。

PINコード式のWPSで無線接続する

無線LANルーターにPINコードを入力して、無線接続を設定します。無線LANルーターがPINコード式のWPSに対応している場合に利用できます。

設定メニュー

「ネットワーク設定」＞「ネットワーク接続」＞「無線 (Wi-Fi)」

1 **「PIN コード」を選ぶ。**

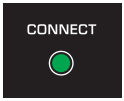
2 **テレビ画面の表示にしたがって、無線接続する。**
接続が完了すると、「完了しました」と表示されます。
「接続できませんでした」と表示された場合は、手順1からやり直すか、別の接続方法をお試しください。

これで無線接続は完了です。

サブウーファーを手動で接続する

サウンドバーにサブウーファーを手動で接続する場合は、以下の操作をしてください。

1. **サブウーファー背面のSETUPボタンを5秒以上押す。**
2. **サウンドバーの電源をオンにする。**
3. **⚙（設定）キーを押して、設定メニューから「スピーカー設定」＞「登録」画面で「登録」を選択する。**
   接続が完了すると、サブウーファー背面のCONNECTランプが点灯します。



上記の操作を行ってもサブウーファー背面のCONNECTランプが点灯しない場合は、次のようにしたあとで、もう一度手動で接続してください。

- サウンドバーとサブウーファーを近づけてください。
- サウンドバーとサブウーファーを、互いに金属製の家具などで遮られない位置に設置してください。
- 近くに電子レンジや無線LAN機器など、電磁波を発するものがある場合は、それらのものから離れたところに設置してください。

お知らせ

サウンドバーのフロントディスプレイで、サブウーファーの接続状態を確認できます。



点灯：接続済み
消灯：未登録または未接続

関連リンク

「スピーカーの設定をする」(92ページ)

商標

本ガイドで使用している商標です。

COMPATIBLE WITH
Dolby Vision Dolby Atmos

Dolby、Dolby Vision、Dolby Atmos、ドルビーおよびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。

本製品はドルビーラボラトリーズのライセンスに基づき製造しています。

非公開機密著作物。 著作権 2012–2024年 ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

dts X

DTSの特許に関しては HTTP://XPERI.COM/DTS-PATENTS/をご覧ください。

本製品は DTS, Inc. のライセンスに基づき製造しています。

DTS、DTS:X および DTS:X ロゴは米国およびその他の国々における DTS, INC. の登録商標又は商標です。

© DTS, INC. AND ITS AFFILIATES. ALL RIGHTS RESERVED.

AURO3D

AURO-3D®はGOER DYNAMICS, BVの登録商標です。AURO, AURO-3D, Auro-CodecおよびAuro-MaticはGOER DYNAMICS, BVの登録商標です。

Works with Apple AirPlay

このフロントサラウンドシステムでAirPlayを使用するには、最新バージョンのiOS、iPadOS、またはmacOSを推奨します。

Works with Apple AirPlayバッジを表記したアクセサリーは、バッジが表す技術に適合するように設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定されたアクセサリーであることを示します。

Apple、AirPlay、Apple TV、Apple Watch、iPad、iPad Air、iPad Pro、iPhone、Lightning、iTunesは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。

日本国内において、iPhone商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interfaceという語、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、 Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。ヤマハ株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

Wi-Fi CERTIFIED™ロゴおよびWi-Fi Protected Setupロゴは Wi-Fi Alliance®の登録商標です。

Wi-Fi、Wi-Fi CERTIFIED、Wi-Fi Protected SetupおよびWPA2はWi-Fi Alliance® の商標または登録商標です。

x.v.Color™

「x.v.Color」は、ソニー株式会社の商標です。

App Store

App Storeは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.のサービスマークです。

Android　Google Play

Android、Google Playは、Google LLCの商標または登録商標です。

「ラジコ」、「radiko」およびradikoロゴは株式会社radikoの登録商標です。

MusicCastは、ヤマハ株式会社の商標または登録商標です。

Google Noto Fonts

本製品は次のフォントを使用しています。

Noto Sans (https://www.google.com/get/noto/#sans-lgc)

Ⓒ June 2015, Google Noto Sans CJK (https://www.google.com/get/noto/help/cjk/)

Ⓒ June 2015, Google

これらのフォントソフトウェアは、SIL Open Font License 1.1のもとライセンスされています。ライセンスに関しては、http://scripts.sil.org/OFLのFAQをご覧ください。

GPL/LGPLについて

本製品は、GPL/LGPL ライセンスが適用されたオープンソースソフトウェアのコードを一部に使用しています。お客様はGPL/LGPL ライセンスの条件に従い、これらのソフトウェアのソースコードを入手、改変、再配布する権利があります。

GPL/LGPL ライセンスの適用を受けるソフトウェアの概要、ソースコードの入手、GPL/LGPL ライセンスの内容につきましては、以下の弊社ウェブサイトをご覧ください。

https://download.yamaha.com/sourcecodes/musiccast/

ライセンス情報

本製品が使用するサードパーティソフトウェアについては、次で確認できます。

http://(本製品のIPアドレス*)/licenses.html

* 本製品のIPアドレスはMusicCast Controllerや設定メニュー、フロントディスプレイメニューで確認できます。

サポート窓口一覧

問題が解決しない場合は、次の窓口にお問い合わせください。

日本国内のお客様

お買い上げ店、または同梱の「クイックガイド」掲載の「お問い合わせ窓口」までお問い合わせください。

日本以外の地域のお客様

お近くのヤマハ正規ディーラーまたはサービスセンターまでお問い合わせください。

https://manual.yamaha.com/audio/address_list/

Yamaha Global Site
https://www.yamaha.com/

Yamaha Downloads
https://download.yamaha.com/

© 2025 Yamaha Corporation

2026年5月 発行 NV-F0

AV24-0001